

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語

科目 論理国語

教科：国語

科目：論理国語

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者：（1,2,3組：村木）（4,6組：倉部）（5,7,8組：猪狩）

使用教科書：（『論理国語』 大修館書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力【思考力、判断力、表現力等】力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 論理国語 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		話	書	読					
単元 言語の探究 人を指す言葉 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「『贈り物』としてのノブレスオブリージュ」 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
単元 コミュニケーションの手段 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「ネットワーク上のコミュニケーション」江下雅之 ・一人1台端末の活用 等	○	○		【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。	○	○	○	6
1学期 定期考査						○	○		1

<p>単元 言語の探究</p> <p>【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 消費されるスポーツ 多木浩一</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	○	○	8
<p>単元 政治と社会</p> <p>【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈すること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「多教決を疑う」坂井豊貴 ・一人1 端末末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 文や文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解を深めている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 主張を支える根拠や結論を導く論拠を批判的に検討し、文章や資料の妥当性や信頼性を吟味して内容を解釈している。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	○	○	8
<p>定期考査</p>					○	○	1
<p>単元 メディアの変容</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 筆者が考察した主張について、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 情報を重要度や抽象度などによって階層化して整理する方法について理解を深める。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 リスク社会としての現代 大澤真幸 ・一人1 端末末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	○	○	8
<p>単元 環境へのまなざし</p> <p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすること。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえること。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>	<p>・指導事項 筆者が考察した考えについて、文章構成をもとに把握し、自分に照らして考えを深める。 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 主張とその前提や反証など情報と情報との関係について理解を深める。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 リスク社会としての現代 大澤真幸 ・一人1 端末末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】 論証したり学術的な学習の基礎を学んだりするために必要な語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 情報の妥当性や信頼性を吟味しながら、自分の立場や論点を明確にして、主張を支える適切な根拠をそろえようとしている。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。</p>	○	○	8
<p>定期考査</p>					○	○	1

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 文学国語演習

教科：国語 科目：文学国語演習 単位数：2 単位
 対象学年組：第 3 学年 組～ 組
 教科担当者：（ 組：田山） （ 組：田山） （ 組：猪狩） （ 組：猪狩）
 使用教科書：（ 『文学国語』大修館書店 ）
 教科 国語 の目標：

【知識及び技能】生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目 文学国語演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当 時数
		語・文	書	読					
単元 小説（時代と表現） ・明治という時代背景・舞台設定の意味を考える。 ・登場人物の境遇と心情を理解する。	・指導事項 場面の展開を把握しながら本文を音読し、なじみのない語句の意味を注や辞書を手掛かりにして理解させる。 場面ごとの主人公の苦悩と葛藤を読み取り、それらが近代社会のどのような構造によるものかを理解させる。 文語体のリズムや響きなどに興味を持ち、文語体で書かれたほかの作品を鑑賞させる。 ・教材 森鷗外「舞姫」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことをとおして、語感を磨き語彙を豊かにすること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、作品に表れているものの見方、感じ方、考え方をとらえるとともに、作品が成立した背景やほかの作品などとの関係をふまえ、作品の解釈を深めること。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・時代背景や舞台設定をおさえ、登場人物の境遇を理解しながら、作品を読み味わおうとする態度を養うこと。	○	○	○	6
単元 随想・評論（想像と共感） ・筆者の経験に基づいた考えを読み取る。 ・自身の人生における「選択」について考える。	・指導事項 心情の吐露や呼びかけなど、体験をもとに読者へのエールを送る筆者の工夫を適切に理解させる。 本文の各場面における筆者の置かれた環境とそれぞれの「選択」の理由を理解させる。 筆者の考えに対して自分の経験と関連付けながら今後の生き方について考えさせる。 ・教材 朝井リョウ「十八歳の選択」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解すること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確に捉えていること。 ・「読むこと」において、作品の内容や解釈をふまえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして自分の生き方について考えを深めていること。	○	○	○	4
単元 小説（現代への視点） ・登場人物の描写を的確にとらえる。 ・語り手の役割を意識する。	・指導事項 作品の構成や展開、擬人法や比喻といった表現の特徴について理解を深め、その効果を本文に即して理解させる。 小説における語り手の役割や視点人物について理解を深め、本文において「本」や三人の人物がどのように描写されているかを考察させる。 登場人物の描かれ方に着目しながら小説を読むことを通して、本と人間について考えさせる。 ・教材 石田衣良「旅する本」 ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	【知識及び技能】 ・文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めていること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえること。 ・「読むこと」において、ほかの作品と比較するなどして文体の特徴や効果について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め作品を味わおうとしていること。	○	6	○	4
定期考査						○	○		1

1 学期

	<p>単元 小説（虚構の可能性）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・舞台設定や時代背景をふまえて読む。 ・登場人物の設定や心情の変化を的確に読み取る。 ・語り手の役割を意識する。 	<p>・指導事項</p> <p>文中の語句の意味を把握し、その語句が用いられた効果を理解させる。アプロディテ像は万人にとっての「美神」であり、ことに発見者のR博士には特別な意味を持つ像であることを把握している。作品の主題を深く読み取り、「美」の本質について自分の考えを深めた上で表現させる。</p> <p>・教材 三島由紀夫「美神」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には想像や心情を豊かにする働きがあることを理解していること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえること。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して内容を解釈していること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・舞台設定や時代背景をおさえ、作品のテーマについて考えを深めようとしていること。 	○	○	○	9
	<p>単元 小説（発見と批評）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・登場人物の設定や心情の変化を的確に読み取る。 ・語り手の役割を意識する。 	<p>・指導事項</p> <p>女性独白体や本文中に出てくる多彩な表現法について学び、作品の文体が表す効果を理解させる。段落ごとの構成を把握し「私」の目から見た周囲の状況を「私」の心境や行動の変化と関わらせながら読み、作者が描こうとしたものについて考えさせる。他人の意見を尊重して聞きながら「私」が何を待っているかについて自分の意見を深めさせる。</p> <p>・教材 太宰治「待つ」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めていること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえること。 ・「読むこと」において、ほかの作品と比較するなどして文体の特徴や効果について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・登場人物の描写や語り手の役割について考えを深め作品を味わおうとしていること。 	○	○	○	8
	定期考査					○	○		1
2 学 期	<p>単元 小説（日常への視点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間の流れと人物の変化との関係を的確にとらえる。 	<p>・指導事項</p> <p>季節に応じた表現描写や情景描写を的確にとらえ、小説の表現効果について理解させる。時間の経過に沿って構成をとらえ、場面の展開を的確にとらえさせる。作品の構成や表現の特徴について自ら気づくとともに、家族や知人との関係について各自の体験を振り返り表現させる。</p> <p>・教材 角田光代「鍋セット」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解していること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めていること。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえていること。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して内容を解釈していること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・文体の特徴と効果をおさえ、作品を読み味わい、自身の日常や体験について考えを深めようとしていること。 	○	○	○	5
	<p>単元 小説（文化と伝統）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・草木とともにある家族への筆者の思いを読み取る。 	<p>・指導事項</p> <p>筆者にとって草木は身近であり、さまざまな思いや思い出が草木とともにあることを理解させる。幼少期の思い出と現在の思いの交錯をとらえている。筆者の心情を理解したうえで、自分の体験に照らし合わせ、自らの生き方や周りとの関係を見つめなおすきっかけにさせる。</p> <p>・教材 幸田文「藤」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解していること。 ・情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増やし、文章の中で使うことを通して語感を磨き語彙を豊かにしていること。 【思考・判断・表現】 ・「読むこと」において文章の種類をふまえて、内容や構成、展開、描写の仕方などを的確にとらえていること。 ・「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して内容を解釈していること。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・筆者のものの見方や考え方をとらえ、想像することや共感することをとおして自分の生き方について考えを深めていること。 	○	○	○	5
	<p>単元 小説（文化と伝統）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本文化についての感性豊かな言語表現を読み取る。 ・日本の伝統的な価値観やその変化について考える。 	<p>・指導事項</p> <p>近代化の波の中にあつた当時の文化について十分な知識を持ち、それが人々の考え方に与えていた影響について考えさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西洋と比較することで主張を裏付ける文章構成をとらえ、日本料理には陰翳を基調として闇と密接な関係があることを理解させる。 <p>日本の伝統的な文化や価値観が大きく変わろうとしていた時代に思いを馳せ、また現代の日本文化についても考えさせる。</p> <p>・教材 谷崎潤一郎「陰翳礼賛」</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	○	○	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文学的な文章の種類や特徴などについて理解を深めていること。 ・文学的な文章を読むことをとおして、我が国の言語文化の特質について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 ・「読むこと」において、内容や構成、展開、描写のしかたなどを的確にとらえること。 ・「読むこと」において、ほかの作品と比較するなどして文体の特徴や効果について考察すること。 【学びに向かう力、人間性等】 ・筆者の表現をふまえ、伝統的な価値観やその変化について考えを深めようとしていること。 	○	○	○	7
	定期考査						○	○	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 国語 科目 現代文演習

教科：国語 科目：現代文演習 単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 1組～8組

教科担当者：（鶴田）

使用教科書：（『上級現代文Ⅰ 改訂版』晴山亨／立川芳雄／菊川智子／川野一幸著 桐原書店 『論理国語』大修館書店）

教科 国語 の目標：

【知識及び技能】実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

科目 現代文演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。	論理的、批判的に考える力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	態	配当 時数
			話	聞	書	読					
1 学 期	A単元 言い換え、内容説明 【知識及び技能】 傍線部中の指示語を言い換えること。線部を本文の言葉で説明すること。線部中の複数の要素を言い換えること。 物語のつながりを説明すること。物事の違いを説明すること。条件指定のある要約文を作成する。 【思考力、判断力、表現力等】 感覚的、比喩的な表現を避け、条件に沿った明快な論旨の文章を作成すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「上級現代文Ⅰ 改訂版」 桐原書店 「論理国語」大修館書店 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 傍線部中の指示語を言い換えることができる。線部を本文の言葉で説明することができる。線部中の複数の要素を言い換えることができる。物語のつながりを説明することができる。物事の違いを説明することができる。条件指定のある要約文を作成することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 感覚的、比喩的な表現を避け、条件に沿った明快な論旨の文章を作成することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。					23
	定期考査										1
2 学 期	単元 理由説明、表現（小説中心） 【知識及び技能】 因果関係を説明する。意味内容を説明する。条件指定のない要約文を作成する。 具体的な事実を盛り込んだ説明をする。本文に書かれていないことを説明する。傍線部中の独特な表現を言い換える。 【思考力、判断力、表現力等】 因果関係を適切にとらえるとともに、文章を作成する際に適切な一般化、具体化を行う。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 「上級現代文Ⅰ 改訂版」 桐原書店 「論理国語」大修館書店 ・一人1台端末の活用 等				【知識及び技能】 因果関係を説明することができる。意味内容を説明することができる。条件指定のない要約文を作成することができる。 具体的な事実を盛り込んだ説明をすることができる。本文に書かれていないことを説明することができる。傍線部中の独特な表現を言い換えることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 因果関係を適切にとらえるとともに、文章を作成する際に適切な一般化、具体化を行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深め、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。					24
	定期考査										1
3 学 期	単元 入試過去問演習 「日本文化の三つの時間」（「論理国語」） 【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めること。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫すること。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。	・指導事項 内容や構成、論理の展開を的確に捉え、要旨を把握する。 文章に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容を解釈する。 ものの見方や捉え方について述べた文章を読み、自分の意見や考えを論述する。 常用漢字を文や文章の中で活用する。 語句の量を増やし、語彙を豊かにする。 主張と論拠、個別と一般化、推論など、情報と情報との関係を理解する。 読書の意義と効用を理解する。 ・教材 大学入試過去問 「論理国語」大修館書店				【知識及び技能】 文章の種類に基づく効果的な段落の構造や論の形式など、文章の構成や展開の仕方について理解を深めようとしている。 【思考力、判断力、表現力等】 立場の異なる読み手を説得するために、批判的に読まれることを想定して、効果的な文章の構成や論理の展開を工夫しようとしている。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養おうとしている。					20
	定期考査										1
											70

年間授業計画

上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 世界史演習

教科：地理歴史 科目：世界史演習 単位数：5 単位

対象学年組：第 3 学年 3・7・8 組

教科担当者：北岡美紀子

使用教科書：（『詳説 世界史』山川出版社）

教科 地理歴史

の目標：

- 【知識及び技能】 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 世界史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、地理的条件や日本の歴史と関連づけながら理解しているとともに、諸資料から世界の歴史に関するさまざまな情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を演習を通して身につけるようにする。	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現代世界とのつながりなどに着目して演習を行ない、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を	世界の歴史の大きな枠組みと展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵かん養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	記 時 数
<p>単元名 (1) 地球環境から見ると人類の歴史 【知識及び技能】 人類の誕生と地球規模での拡散・移動を基に、人類の歴史と地球環境との関わりを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象を捉えるための時間の尺度や、諸事象の空間的な広がりに着目し、主題を設定し、地球の歴史における人類の歴史の位置と人類の特性を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、人類の歴史と自然環境の関わりについて理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 自然環境と人類の関わり、および人類の進化の過程の概要を理解している。 【思考・判断・表現】 長期にわたる地球気温の変化を示す統計資料や「地球カレンダー」などの資料をもとに、地球の自然環境が直面している危機およびその克服に向けた取り組みを、多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 自然環境と人類の進化について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元名 (2) 日常生活から見ると世界の歴史 【知識及び技能】 衣食住、家族、教育、余暇などの身の回りの諸事象を基に、私たちの日常生活が世界の歴史とつながっていることを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 諸事象の来歴や変化に着目して、主題を設定し、身の回りの諸事象と世界の歴史との関連性を考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 諸資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、日常生活と世界の歴史の関わりについて理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 今日の社会で一般的とされていることの多くが歴史的に形成されたもので、地域や時代によっては一般的ではないことを理解している。 【思考・判断・表現】 日常生活のなかで世界史とつながっているモノを見出し、自分自身と世界とのつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 日常生活と世界史のつながりについて、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元名 (3) 諸地域の歴史的特質への関わり 【知識及び技能】 資料から情報を読み取ったりまとめたりする技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 授業・身分・階級、王権、宗教、文化・思想などに関する資料を活用し、課題を追究したり解決したりする活動を通して、文明の形成について理解し考察する力を身に付けることができるよう指導する。 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 資料から情報を読み取ったり、まとめたりする技能を身につけている。 【思考・判断・表現】 文明の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、諸地域の歴史的特質を読み解く観点について考察し、問いを表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 古代文明や諸地域の歴史的特質について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しをもって学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元名 (4) 文明の成立と古代文明の特質 【知識及び技能】 古代文明の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 古代オリエントや南アジア、東アジア、南北アメリカの古代文明に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性、農耕・牧畜の意義などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 文明の誕生 2. 古代オリエント文明とその周辺 3. 南アジアの古代文明 4. 中国の古代文明 5. 南北アメリカ文明 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 各地域の古代文明の特質について理解している。 【思考・判断・表現】 各地域の古代文明の社会の特徴や世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 各地域の古代文明について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元名 (5) 中央ユーラシアと東アジア世界 【知識及び技能】 中央ユーラシアと東アジア世界の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 中央ユーラシアと東アジア世界に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することによって課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 中央ユーラシア 2. 秦・漢帝国 3. 中国の動乱と変容 4. 東アジア文化圏の形成 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 中央ユーラシアと東アジア世界の歴史的特質を理解している。 【思考・判断・表現】 中央ユーラシアと東アジアの関係が成立した背景や原因を考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 中央ユーラシアと東アジア世界について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10

1 学期

<p>単元名 (6) 南アジア世界と東南アジア世界の展開 【知識及び技能】 南アジアと東南アジア世界の歴史的特質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 南アジア世界と東南アジア世界の展開に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連などに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、自然環境と生活や文化との関連性などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 仏教の成立と南アジアの統一国家 2. インド古典文明とヒンドゥー教の定着 3. 東南アジア世界の形成と展開 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 南アジア・東南アジア世界の形成や発展、各地で人々の移動や交流がおこなわれたことを理解している。 【思考・判断・表現】 南アジア・東南アジアにおける社会や文化について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 南アジアと東南アジア世界の展開について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元名 (7) 西アジアと地中海周辺の国家形成 【知識及び技能】 西アジアと地中海周辺の国家形成の過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 西アジアと地中海周辺の国家形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、遊牧民の社会の特徴と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. イラン諸国家の興亡とイラン文明 2. キリシヤ人の都市国家 3. ローマと地中海世界 4. キリスト教の成立と発展 ・教材 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 西アジアと地中海世界に誕生した国家について理解している。 【思考・判断・表現】 西アジアと地中海世界に誕生した国家が、世界の歴史に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 西アジアと地中海世界に誕生した国家について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元名 (8) イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成 【知識及び技能】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成過程を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、その社会や宗教・文化の特色と周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. アラブの大征服とイスラム政権の成立 2. ヨーロッパ世界の形成 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 イスラム教の成立過程やヨーロッパ世界の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 イスラム教の拡大とヨーロッパ世界が周辺社会に与えた影響を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラム教の成立とヨーロッパ世界の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元名 (9) イスラム教の伝播と西アジアの動向 【知識及び技能】 イスラム教の伝播と西アジアの動向について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イスラム教の伝播と西アジアの動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. イスラム教の諸地域への伝播 2. 西アジアの動向 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 イスラム教が伝播した諸地域の特質や西アジアの動向について理解している。 【思考・判断・表現】 イスラム教の伝播における影響や西アジアの動向について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 イスラム教の伝播と西アジアの動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元名 (11) ヨーロッパ世界の変容と展開 【知識及び技能】 ヨーロッパ世界の変容と展開について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ヨーロッパ世界の変容と展開に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. ヨーロッパの封建社会とその展開 2. ヨーロッパ世界の展開 3. ヨーロッパ世界の変容 4. ヨーロッパの中世文化 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 ヨーロッパ世界の変容について影響を理解している。 【思考・判断・表現】 ヨーロッパ世界の変容について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ヨーロッパ世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元名 (12) 東アジア世界の展開とモンゴル帝国 【知識及び技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国の成立について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 東アジア世界とモンゴル帝国に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. アジア諸地域の自立化と宋 2. モンゴルの大帝国 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国について理解している。 【思考・判断・表現】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国が成立した背景やその特質を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 東アジア世界の展開とモンゴル帝国について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元名 (13) 大交易・大交流の時代 【知識及び技能】 大交易・大交流の時代について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 大交易・大交流の時代に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. アジア交易世界の興隆 2. ヨーロッパの海洋進出とアメリカ大陸の変容 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 大航海時代における世界の結びつきについて理解している。 【思考・判断・表現】 大航海時代の世界のつながりを多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 大交易・大交流の時代について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元名 (14) アジアの諸帝国の繁栄 【知識及び技能】 アジアの諸帝国の繁栄について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジアの諸帝国の繁栄に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. オスマン帝国とサファヴィー朝 2. マガル帝国の興隆 3. 清代の中国と隣接諸地域 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 アジアの諸帝国の特質を理解している。 【思考・判断・表現】 アジアの諸帝国の繁栄について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジアの諸帝国の繁栄について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10

2 学 期	<p>単元名 【15】近世ヨーロッパ世界の動向 【知識及び技能】 近世ヨーロッパ世界の動向を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 近世ヨーロッパ世界の動向に関わる諸事象の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、周辺諸地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. カネサンス 2. 宗教改革 3. 主権国家体制の成立 4. オランダ・イギリス・フランスの台頭 5. 北欧・東欧の動向 6. 科学革命と啓蒙思想 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 近世ヨーロッパ世界の動向について理解している。 【思考・判断・表現】 近世ヨーロッパ世界の動向を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 近世ヨーロッパ世界の動向について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>単元名 【16】産業革命と環大西洋革命 【知識及び技能】 産業革命と環大西洋革命の特徴を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命と環大西洋革命の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 産業革命 2. アメリカ合衆国の独立と発展 3. フランス革命とナポレオンの支配 4. 中南米諸国の独立 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 産業革命と環大西洋革命について理解している。 【思考・判断・表現】 産業革命と環大西洋革命について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 産業革命と環大西洋革命について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元名 【17】イギリスの優位と欧米国民国家の形成 【知識及び技能】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 イギリスの優位と欧米国民国家の形成の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. ワイン体制とヨーロッパの政治・社会の変動 2. 列強体制の動揺とヨーロッパの再編成 3. アメリカ合衆国の発展 4. 19世紀欧米文化の展開と市民文化の繁栄 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 国民国家の形成について理解している。 【思考・判断・表現】 国民国家の形成を多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国民国家の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元名 【18】アジア諸地域の動揺 【知識及び技能】 アジア諸地域の動揺について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 アジア諸地域の動揺の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他の宗教との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 西アジア地域の変容 2. 南アジア・東南アジアの植民地化 3. 東アジアの激動 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 アジア諸地域の動揺について理解している。 【思考・判断・表現】 アジア諸地域の動揺について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 アジア諸地域の動揺について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元名 【19】帝国主義とアジアの民族運動 【知識及び技能】 帝国主義とアジアの民族運動について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 帝国主義とアジアの民族運動の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 第2次産業革命と帝国主義 2. 列強の世界分割と列強体制の二分化 3. アジア諸国の変革と民族運動 ・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 帝国主義とアジアの民族運動について理解している。 【思考・判断・表現】 帝国主義とアジアの民族運動について多面的・多角的に考察し表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 帝国主義とアジアの民族運動について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	15
定期考査			○	○		1	

3 学 期	<p>単元名 (20) 第一次世界大戦と世界の変容</p> <p>【知識及び技能】 第一次世界大戦と世界の変容について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第一次世界大戦と世界の変容の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 第一次世界大戦とロシア革命 2. ヴェルサイユ体制下の欧米諸国 3. アジア・アフリカ地域の民族運動</p> <p>・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 第一次世界大戦と世界の変容について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第一次世界大戦と世界の変容について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第一次世界大戦と世界の変容について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元名 (21) 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成</p> <p>【知識及び技能】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成の過程を理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 世界恐慌とヴェルサイユ体制の破壊 2. 第二次世界大戦 3. 新しい国際秩序の形成</p> <p>・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 第二次世界大戦と新しい国際秩序の形成について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元名 (22) 冷戦と第三世界の台頭</p> <p>【知識及び技能】 冷戦と第三世界の台頭について理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦と第三世界の台頭の背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 冷戦の展開 2. 第三世界の台頭とキューバ危機 3. 冷戦体制の高揚</p> <p>・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 冷戦と第三世界の台頭について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦と第三世界の台頭について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦と第三世界の台頭について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元名 (23) 冷戦の終結と今日の世界</p> <p>【知識及び技能】 冷戦の終結と今日の世界のつながりについて理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 冷戦の終結と今日の世界のつながりの背景や原因、結果や影響、事象相互の関連、諸地域相互の関わりなどに着目し、主題を設定し、諸資料を比較したり関連付けたりして読み解き、他地域との関係などを多面的・多角的に考察し、表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、様々な課題に対して多面的・多角的に考察することで課題を解決する。</p>	<p>・指導事項 1. 産業構造の変化 2. 冷戦の終結 3. 今日の世界 4. 現代文明の諸相</p> <p>・教材 教科書・資料集・演習プリントなど</p>	<p>【知識・技能】 冷戦の終結について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 冷戦の終結について多面的・多角的に考察し表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 冷戦の終結について、自分が抱いた興味・関心や疑問、追究してみたいことなどを見出して、見通しを持って学習に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査		○	○		1	
						合計	
						195	

年間授業計画

上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史演習

教科：地理歴史 科目：日本史演習

単位数：5 単位

対象学年組：第 3 学年 1・2 組

教科担当者：野村将士

使用教科書：（詳説 日本史 山川出版社）

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】日本及び世界の歴史の考察に関わる概念の理解するとともに、歴史に関わる諸資料を活用することで課題を発見する

【思考力、判断力、表現力等】自国の歴史、グローバルな歴史を横断的・相対的に捉え、諸資料を活用して、歴史に関わる諸課題を考察する

【学びに向かう力、人間性等】国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を持ち、課題解決の方法を工夫して、課題を解決する

科目 日本史演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、技能を身に付ける。	・我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関係や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決策を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を養う。	・我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他地域の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>幕藩体制の成立と展開</p> <p>【知識及び技能】 江戸幕府の支配形式や対外政策の確立と推移、封建的身分秩序の形成や諸産業の発達について諸資料から情報を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 江戸幕府の支配形式や対外政策の確立と推移、封建的身分秩序の形成や諸産業の発達について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 幕藩体制の成立から安定期の諸政策や産業の発達、文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとする。</p>	<p>・指導項目 幕藩体制の成立 幕藩社会の構造 幕政の安定 経済の発展 元禄文化 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識及び技能】 ・江戸幕府の支配形式や対外政策の確立と推移、封建的身分秩序の形成や諸産業の発達について諸資料から情報を読み取り、理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ・江戸幕府の支配形式や対外政策の確立と推移、封建的身分秩序の形成や諸産業の発達について多面的・多角的に考察し、根拠を示して表現している。 【学びに向かう力、人間性等】 ・幕藩体制の成立から安定期の諸政策や産業の発達、文化の展開について課題を見出し、主体的に追究しようとしている。</p>	○	○	○	20
<p>幕藩体制の動揺</p> <p>【知識・技能】 幕藩体制下の社会の変容と動揺、政治・経済の変容と文化の展開の関連性、海外勢力の接近と幕府の衰退について、諸資料から情報を読み取り理解する。 【思考・判断・表現】 幕藩体制下の社会の変容と動揺、政治・経済の変容と文化の展開の関連性、海外勢力の接近と幕府の衰退について、多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 幕藩体制下の社会の変容と動揺、政治・経済の変容と文化の展開の関連性、海外勢力の接近と幕府の衰退について多面的・多角的に考察し、歴史的諸事象が近代社会の基礎形成に及ぼした影響を見出そうとする。</p>	<p>・指導項目 幕政の改革 享保・天明期の文化 幕府の衰退と近代への道 文化 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・幕藩体制下の社会の変容と動揺、政治・経済の変容と文化の展開の関連性、海外勢力の接近と幕府の衰退について、諸資料から情報を読み取り理解している。 【思考・判断・表現】 ・幕藩体制下の社会の変容と動揺、政治・経済の変容と文化の展開の関連性、海外勢力の接近と幕府の衰退について、多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・幕藩体制下の社会の変容と動揺、政治・経済の変容と文化の展開の関連性、海外勢力の接近と幕府の衰退について多面的・多角的に考察し、歴史的諸事象が近代社会の基礎形成に及ぼした影響を見出そうとしている。</p>	○	○	○	20
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>近世から近代へ</p> <p>【知識・技能】 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化や開国に至る経緯、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【思考・判断・表現】 政治・経済の変化と思想への影響などに着目して、欧米諸国の進出によるアジア諸国の変化や開国に至る経緯、幕藩体制の崩壊と新政府の成立について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 開国に関わる諸事象や幕末の政治動乱の過程について、国際的な視点から考察し、主体的に追究しようとする。</p>	<p>・指導項目 開国と幕末の動乱 幕府の滅亡と新政府の発足 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	20
<p>近代国家の成立</p> <p>【知識及び技能】 明治政府の諸政策とその影響、文明開化の風潮、自由民権運動の展開から国会開設に至るまでの歴史的諸事象について、様々な諸資料から情報を読み取り理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 明治政府の諸政策、文明開化の風潮、自由民権運動の展開から国会開設に至るまでの歴史的諸事象について、その目的や影響を考察し、根拠を明らかにして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 文明開化の風潮や立憲政治の導入がもたらした課題や意味を見出し、意欲的に追究しようとする。</p>	<p>・指導項目 明治維新と富国強兵 立憲国家の成立 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	20
<p>近代国家の展開</p> <p>【知識及び技能】 日清・日露戦争前後における国際関係や日本の大陸への勢力拡張、第一次世界大戦における国際協定制と民族運動の高揚について、日本の立場や対外政策の変化について諸資料から情報を読み取り、その背景や国内の政治体制の形成や社会動向の発生について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 日清・日露戦争前後における国際関係や日本の大陸への勢力拡張、第一次世界大戦以降の国際協定制と民族運動の高揚について、諸国家・諸団体の立場に着目して考察し、根拠を明らかにして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 対外戦争や国際協定制の形成された経緯とその特質の考察を通して、それらが近代日本にもたらした影響と課題について意欲的に追究しようとする。</p>	<p>・指導項目 日清・日露戦争と国際関係 第一次世界大戦と日本 ワシントン体制 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	25
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>近代の産業と生活</p> <p>【知識及び技能】 産業革命の影響や国家主義的思想の形成、科学技術の導入や学問・芸術・出版・メディアの発展について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【思考力、判断力、表現力等】 産業革命の影響や国家主義的思想の形成、科学技術の導入や学問・芸術・出版・メディアの発展について多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 産業・文化・メディアの発展にもともなう発生した社会問題について課題を見出し、意欲的に追究しようとする。</p>	<p>・指導項目 近代産業の発展 近代文化の発達 市民生活の変容と大衆文化 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	21
<p>戦後と第二次世界大戦</p> <p>【知識及び技能】 恐慌と国際関係や軍部の台頭と対外政策の変容、第二次大戦の展開について、国際関係や政治・経済体制の変化に着目して諸資料から情報を読み取り、理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 恐慌と国際関係や軍部の台頭と対外政策の変容、第二次大戦の展開について、国際関係や政治・経済体制の変化といった様々な歴史的諸事象を相互に関連付けて多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。 【学びに向かう力、人間性等】 当時の新聞記事や国家改造運動の考察活動を通して、軍部の台頭がもたらした課題を見出し、意欲的に追究しようとする。</p>	<p>・指導項目 恐慌の時代 軍部の台頭 第二次世界大戦 ・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。 【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	25
<p>占領下の日本</p> <p>【知識及び技能】</p>	<p>・指導項目 占領下の日本</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。</p>	○	○	○	

<p>占領政策と諸改革、サンフランシスコ平和条約調印による日本の主権回復の意義について、占領政策の転換による日本の政治・経済の変化に関わる諸資料から情報を読み取り、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 占領政策と諸改革、サンフランシスコ平和条約調印による日本の主権回復の意義について、占領前後の思想や国家体制の比較を通して多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 現代日本との関係性を踏まえながら、戦後改革がどのような社会の枠組みを形成したのかを意欲的に追究しようとする。</p>	<p>冷戦の開始と講和</p> <p>・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	20
<p>定期考査</p>			○	○	○	1
<p>高度成長の時代</p> <p>【知識及び技能】 保守合同による自由民主党の成立から経済成長を背景とする安定した保守政権の誕生に至る経緯、戦後日本経済の成長や高度成長期の国民生活の変化とグローバル化について、諸資料から情報を読み取り、理解する。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 様々な国家間の条約や外交事案の課題・影響や、経済成長やグローバル化に伴う諸課題の発生について、多面的・多角的に考察し、根拠を明らかにして表現する。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 様々な国家間の条約や外交事案の課題・影響や、経済成長やグローバル化に伴う諸課題の発生について、意欲的に追究する。</p>	<p>・指導項目 55年体制 経済復興から高度経済成長へ</p> <p>・教材など 教科書・資料集・ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸事象を基に、それらが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史とつながっていることを理解している。</p> <p>・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際秩序の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係や異同に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 学ぶ意義や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	21

年間授業計画

上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 地理歴史 科目 日本史基礎

教科：地理歴史 科目：日本史基礎

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 組～組

教科担当者：竹ヶ原康佑

使用教科書：（詳述歴史総合（実教出版））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】日本及び世界の歴史の考察に関わる概念の理解するとともに、歴史に関わる諸資料を活用することで課題を発見する

【思考力、判断力、表現力等】自国の歴史、グローバルな歴史を横断的・相互的に捉え、諸資料を活用して、歴史に関わる諸課題を考察する

【学びに向かう力、人間性等】国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚を持ち、課題解決の方法を工夫して、課題を解決する

科目 日本史基礎 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
・近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、世界とその中で大きく構造的な理解から捉え、現代的な諸課題の形成に関与する近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切な効果的に調べるとめる能力を身に付ける。	・近現代の歴史の変化に関わる多面的な意味や意義、特色などを、時局や年代、推移、比較、相互の関係・現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史にみられる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらに基に議論したりする力を養う。	・近現代の歴史の変化に関わる諸事情について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して派生される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数		
1 学期	<p>単元名 【8】第一次世界大戦と大衆社会</p> <p>【知識・技能】 第一次世界大戦の展開、日本やアジアの経済成長、ソヴエト連邦の成立とアメリカ合衆国の台頭、ナショナリズムの台頭と国際連盟の成立などを基に、第二次世界大戦の国際関係体制を理解すること。</p> <p>【思考・判断・表現】 大衆の政治参加と女性の地位向上、大正デモクラシーと政党政治、大衆社会と大衆文化、戦後の普及とアメリカの発展などを基に、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けて考察することができる。</p>	<p>指導項目 34. 第一次世界大戦 35. ロシア革命とシベリア出兵 36. 大戦背景と米騒動 37. ヴェルサイユ条約とワシントン体制 38. 南アジア・南アジアの民族運動 39. 東アジア・東南アジアの民族運動 40. 戦間期の欧米 41. 日米関係の緊張と通商手続の実現 42. 政党内閣の時代</p> <p>【教材など】 教科書、資料集、ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史となつていくことを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際関係の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異図に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習意欲や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	4		
	<p>単元名 【9】経済危機と第二次世界大戦</p> <p>【知識・技能】 世界恐慌、ファシズムの伸張、日本の対外政策などを基に、国際連盟の崩壊と第二次世界大戦の国際関係体制、冷戦の始まりとアジア諸国の動向、戦後改革と日本国憲法の制定、平和主義と日本国憲法の制定などを基に、第二次世界大戦の国際関係と日本の国際社会への復帰を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 世界恐慌の背景と影響、国際連盟や政治体制の変化、第二次世界大戦の推移と大戦後の世界に与えた影響、国際関係の形成を考察することができる。</p>	<p>指導項目 43. 世界恐慌 44. ファシズムの伸張 45. 満洲事変と軍部の台頭 46. 第二次世界大戦とアジア太平洋戦争 47. 戦時体制 48. 戦後と改革 49. 国連 50. 国際連合と戦後世界 51. 戦後と占領の始まり</p> <p>【教材など】 教科書、資料集、ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史となつていくことを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際関係の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異図に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習意欲や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	5		
	<p>定期考査</p>				○	○		1	
	<p>単元名 【10】国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題</p> <p>【知識・技能】 自由、制度、平等、格差、開発、保全、統合、分断、対立、協調などの概念的な理解を深め、現代的な諸課題の形成に関与する国際秩序の変化や大衆化の歴史を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 現象の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、主題について多面的・多角的に考察し表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。</p>	<p>指導項目 52. 民主化と日本国憲法</p> <p>【教材など】 教科書、資料集、ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史となつていくことを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際関係の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異図に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習意欲や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	5		
	<p>単元名 【11】グローバル化への関わり</p> <p>【知識・技能】 海戦・国際関係、人と社会の移動、高度情報通信、食料と人工環境、エネルギーと地球環境、感染症、多様な人々の共存などに関する資料を活用し、情報を読み取ったりまとめることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 グローバル化に伴う生活や社会の変化について考察し、問いを表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。</p>	<p>指導項目 53. 海戦の開始 54. 朝鮮戦争と日本 55. 冷戦成立の推移</p> <p>【教材など】 教科書、資料集、ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史となつていくことを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際関係の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異図に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習意欲や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	5		
	<p>単元名 【12】冷戦と世界経済</p> <p>【知識・技能】 国際連盟とアジア、アフリカ諸国、冷戦下の地域紛争、先進国の政治的動向、軍備競争や核兵器の管理などを基に、国際関係の歴史を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 東ヨーロッパや東南アジアの地域運動、計画経済とその発展、日本の高度経済成長などを基に、世界経済の拡大と経済発展の日本の社会を理解することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 現象の背景や影響、冷戦が各国の政治に及ぼした影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、相互に関連付けたりするなどして、地域紛争と冷戦の国際関係の歴史を考察し表現することができる。</p>	<p>指導項目 56. 韓民地の独立と第三世界の出現 57. 米ソ両陣営の動向 58. 日本の国際社会復帰と高度経済成長</p> <p>【教材など】 教科書、資料集、ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史となつていくことを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際関係の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異図に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習意欲や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	5		
	<p>定期考査</p>				○	○		1	
	2 学期	<p>単元名 【13】現代的な諸課題の形成と展望</p> <p>【知識・技能】 国際連盟とアジアの発展を視野に入れ、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 結果の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。</p>	<p>指導項目 65. グローバルな認識へ</p> <p>【教材など】 教科書、資料集、ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史となつていくことを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際関係の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異図に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習意欲や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	5	
		<p>定期考査</p>				○	○		1
		<p>単元名 【14】現代の諸課題の形成と展望</p> <p>【知識・技能】 国際連盟とアジアの発展を視野に入れ、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 結果の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。</p>	<p>指導項目 66. グローバルな認識へ</p> <p>【教材など】 教科書、資料集、ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史となつていくことを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際関係の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異図に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習意欲や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	15	
<p>定期考査</p>					○	○		1	
<p>単元名 【15】現代の諸課題の形成と展望</p> <p>【知識・技能】 国際連盟とアジアの発展を視野に入れ、歴史的経緯を踏まえて、現代的な諸課題を理解することができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 結果の背景や原因、結果や影響などに着目して、日本とその他の国や地域の動向を比較したり、現代的な諸課題を展望するなどして、多面的・多角的に考察し表現することができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 課題を主体的に探究しようとする態度を養い、課題解決の方法を工夫して課題を解決する。</p>		<p>指導項目 67. グローバルな認識へ</p> <p>【教材など】 教科書、資料集、ワークシートなど</p>	<p>【知識・技能】 ・私たちの生活や身近な地域などに見られる諸現象を基に、それが日本や日本周辺の地域及び世界の歴史となつていくことを理解している。 ・資料に基づいて歴史が叙述されていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・近代化、国際関係の変化や大衆化、グローバル化などの歴史の変化と、日本や日本周辺の地域及び世界の歴史との関連性について考察し表現している。 ・複数の資料の関係を異図に着目して、資料から読み取った情報の意味や意義、特色などを考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・学習意欲や目的、歴史的な考察の方法やその特質について、主体的に理解を深めようとしている。</p>	○	○	○	15		
3 学期	<p>定期考査</p>				○	○		1	
	<p>合計</p>						69		

年間授業計画

上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 政治・経済

教科： 公民 科目： 政治・経済 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1～8 組

使用教科書： 高等学校 政治・経済（第一学習社）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを

科目 政治・経済 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元名：現代日本の政治・経済 【知識及び技能】 ・現代日本の政治・経済における諸課題について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・現代日本の政治・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現のために、現代日本の政治・経済について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。	・指導項目 1. 戦後の独立から55年体制の成立 2. 55年体制の崩壊から現在まで 3. 復興期から高度経済成長期まで 4. バブルとその崩壊、今日までの社会の変容 5. 為替や国際貿易の基礎 ・教材 教科書、資料集、自作プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・政党の意義と役割について理解している。日本の政党政治や選挙の課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 【思考・判断・表現】 ・日本経済における産業構造の変化について、理解している。現在の日本経済の現状と課題について、理解している。経済活動と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	4
	単元名：日本国憲法と現代政治のあり方 【知識及び技能】 ・日本国憲法と現代政治のあり方における諸課題について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法と現代政治のあり方に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現のために、日本国憲法と現代政治のあり方について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。	・指導項目 1. 立憲主義 2. 憲法の最高法規性 3. 日本国憲法の基本原則 ・教材 教科書、資料集、自作プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・法の支配や立憲主義の意味と意義について、理解している。基本的人権が確立した背景や経緯について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国家の統治原理として、法の支配や立憲主義を確立することの大切さについて、個人の尊重や憲法によって保障されている自由や平等について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元名：日本国憲法と現代政治のあり方 【知識及び技能】 ・日本国憲法と現代政治のあり方における諸課題について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・日本国憲法と現代政治のあり方に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現のために、日本国憲法と現代政治のあり方について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。	・指導項目 1. 日本国憲法の人権規定 2. 国会 3. 内閣 4. 裁判所 5. 裁判員制度 ・教材 教科書、資料集、自作プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・基本的人権の背景や経緯、新しい人権の具体的内容、民主政治の考え方や政治体制の特徴、国会の地位と構成、法律の成立過程、内閣と国会の関係、内閣の権限、司法権の独立と日本の裁判員制度について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・基本的人権の背景や経緯、新しい人権の具体的内容、民主政治の考え方や政治体制の特徴、国会の地位と構成、法律の成立過程、日本の内閣と国会の関係、内閣の権限、司法権の独立と日本の裁判員制度について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
	単元名：国際平和と人類の福祉に寄与する日本の役割 単元名：主権者としての政治参加のあり方 【知識及び技能】 ・国際平和と日本の役割における諸課題や主権者としての政治参加のあり方について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・国際平和と日本の役割や主権者としての政治参加のあり方に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・よりよい社会の実現のために、国際平和と日本の役割や主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。	・指導項目 1. 平和主義と憲法解釈 2. 日本の防衛政策 3. 日米安保条約と基地問題 4. 日米安全保障協力の拡大 5. 主権者としての政治参加のあり方 ・教材 教科書、資料集、自作プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・平和主義の理念と日本の防衛政策の関連、日米安全保障協力の変化と自衛隊の海外派遣について、理解している。主権者としての政治参加のあり方について、理解している。 【思考・判断・表現】 ・国際社会において日本がこれら果たすべき役割について、多面的・多角的に考察、構想し、表現している。主権者としての政治参加のあり方について多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・よりよい社会の実現を視野に、現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。	○	○	○	7
定期考査			○	○		1	
単元名：グローバル化する国際社会の諸課題 単元名：市場経済の機能と限界	・指導項目 1. 冷戦後の国際情勢や日本の国際貢献	【知識・技能】 ・国際社会の動向、国際紛争はどのような原因で起きるの					

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の諸課題、市場経済の機能と限界について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際社会の諸課題、市場経済の機能と限界に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現のために、国際社会の諸課題、市場経済の機能と限界について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。 	<p>2. 冷戦後の国際社会の現状と地域紛争、国際機構の働き</p> <p>3. 経済活動の主体</p> <p>4. 市場機構の仕組み</p> <p>5. 経済指標の基礎、物価と景気変動</p> <p>・教材 教科書、資料集、自作プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>か、紛争当事者の変化や平和解決のための取り組みについて、理解している。経済の役割と市場経済における人々の選択について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 国際法の果たす役割について、国際社会の特質や国際紛争の諸要因と関連付けて、将来、国際社会においてどのような制度やしくみを作っていくことが必要か、多面的・多角的に考察し、表現している。市場の機能と限界や解決のあり方を多面的・多角的に考察、構想し表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	14
	定期考査			○	○		1
	<p>単元名：持続可能な財政及び租税のあり方</p> <p>単元名：金融を通じた経済活動の活性化</p> <p>単元名：経済活動と福祉の向上</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政や租税、金融、社会保障制度について現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政や租税、金融、社会保障制度に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現のために、財政や租税、金融、社会保障制度について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 財政の働きと租税 2. 金融の働きと金融政策 3. 社会保障制度 <p>・教材 教科書、資料集、自作プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政の機能としくみ、租税の種類やその特徴、金融のはたらきと金融機関の役割、日本銀行の金融政策とその影響について理解している。日本の社会保障制度について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> 財政における国と地方の役割分担、持続可能な財政のあり方、現在の金融をめぐる動向とその課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。経済活動と福祉の向上との関連について、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> よりよい社会の実現を視野に現代社会の諸課題を主体的に解決しようとしている。 	○	○	○	14

年間授業計画

上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 政経演習

教科： 公民 科目： 政経演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 組

使用教科書： （ 高等学校 政治・経済 第一学習社 ）

教科 公民 の目標：

【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを

科目 政経演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。共通テストに対応する知識の獲得を確実にする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。共通テストに向けての資料読解、思考力の要請が重要な観点となる。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。入試科目として主体的に学ぶ姿勢が問われる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	<p>単元名：現代日本の政治・経済</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と市場、経済主体と経済循環、国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動の仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、経済社会の変容と課題について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済活動と資本主義経済 2. 政府の役割と経済的選択 3. 市場の仕組み 4. 経済の三つの主体 <p>●上記事項の問題演習</p> <p>・教材</p> <p>教科書、資料集、自作プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動について現実社会の諸事象を通して理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、経済社会の変容とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	4	
	<p>単元名：現代日本の政治・経済</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動と市場、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、市場の役割とその課題について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 市場の限界と政府の役割 2. 資本主義経済の歴史の変容と経済思想 <p>●上記事項の問題演習</p> <p>・教材</p> <p>教科書、資料集、自作プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市場について現実社会の諸事象を通して理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、市場の役割とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	6	
	確認テスト				○	○		1
	<p>単元名：現代日本の政治・経済</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民経済の大きさと経済成長、物価と景気変動、財政の働きと仕組み及び租税などの意義、金融の働きと仕組みについて、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代日本の経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、経済活動の役割とその課題について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 経済指標、経済成長とその要因 2. 物価と景気変動 3. 労使関係と労働問題 4. 社会保障制度と福祉のあり方 <p>(諸課題の探究学習で意識と理解を深める)</p> <p>●上記事項の問題演習と資料問題演習</p> <p>・教材</p> <p>教科書、資料集、自作プリント、問題集等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国民経済について現実社会の諸事象を通して理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・経済活動に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、経済活動の役割とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	7	
	<p>単元名：現代の国際政治・経済</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際政治について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、国際政治の役割とその課題について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 戦後国際政治の概要 2. 国際機構の役割とその変容 3. 国際法の役割と課題 <p>●上記事項の問題演習と探究型学習</p> <p>・教材</p> <p>教科書、資料集、自作プリント、問題集等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際政治について現実社会の諸事象を通して理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際政治に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、国際政治の役割とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	7	
定期考査				○	○		1	
<p>単元名：現代の国際政治・経済</p> <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・貿易の現状と意義、為替相場の変動、国民経済と国際収支、国際協調の必要性や国際経済機関の役割について、現実社会の諸事象を通して理解を深めさせる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現代の国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けさせる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、国際経済の役割とその課題について多面的・多角的に考察し、構想したことを社会生活に生かそうとする力を身に付けさせる。 	<p>・指導項目</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 国際経済の仕組み（為替や貿易など）とその安定と日本の役割 2. 日本の国際貢献 <p>●上記事項の問題演習と探究型学習</p> <p>・教材</p> <p>教科書、資料集、自作プリント、問題集等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済について現実社会の諸事象を通して理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国際経済に関する諸資料から、課題の解決に向けて考察、構想する際に必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取る技能を身に付けている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・よりよい社会の実現のために、国際経済の役割とその課題について多面的・多角的に考察、構想したことを社会生活に生かそうとしている。 	○	○	○	14		

年間授業計画

上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 公民 科目 倫理

教科：公民

科目：倫理

単位数：2 単位

対象学年組：第 3 学年 組

教科担当者：石浦

使用教科書：（詳述倫理（実教出版））

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として

科目 倫理

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>青年期の課題と自己形成</p> <ul style="list-style-type: none"> 青年期の意義 青年期の課題と生き方 人間としての自覚 人間とは何か 	<p>・自己がおかれた現実の状況をかえ、人生における青年期の位置づけや特徴について考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 青年期特有の課題であるモラトリアムとしての時期や、自己のめざめについて学ぶ。 青年期の発達課題であるアイデンティティの確立について理解を深め、自己実現の追求、自己理解の方法などについて学ぶ。 自己にとっての真の幸福や生きがいについて考える。 人間の定義について考えたうえで、パスカルの言葉を手掛かりに先人の思想を学ぶ意義について理解する。 	<p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことができる。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。 	○	○	○	4
<ul style="list-style-type: none"> ギリシア思想 キリスト教 イスラーム 	<p>・ギリシア思想の特徴を、古代ギリシアの政治・社会のあり方に関する基本的な歴史的知識とともに、神話的世界観と比較しながら理解し、自然哲学者、ソフィスト、プラタナス、プラトン、アリストテレス、ヘレニズムの思想を中心に理解する。また、その思想の展開について学ぶ。</p> <p>・古代ユダヤ教やキリスト教の成立と中世までの発展過程について、基本的な歴史的知識とともに理解させ、一神教や啓示宗教の特徴、イエスの言行、世界宗教としてのキリスト教の特徴などを理解する。</p> <p>・イスラームの成立と発展過程について、イスラーム成立以前のアラビア社会のあり方などを含めた基本的な歴史的知識とともに理解し、その特徴や、ユダヤ教・キリスト教との共通点・相違点、現代社会への影響などを理解する。</p>	<p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことができる。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<ul style="list-style-type: none"> 仏教 中国思想 日本人としての自覚（日本の仏教思想、儒教の受容と朱子学、日本陽明学、日本的儒学の形成、民衆の思想） 	<p>・仏教の成立と発展過程について、仏教成立以前のインド社会のあり方などを含めた基本的な歴史的知識とともに理解し、ウパニシャッド哲学、ジャイナ教、ブッダの生涯と思想、上座部、大乘仏教、ヒンドゥー教を中心にその特徴について理解する。</p> <p>・中国思想の特徴を、古代中国の政治・社会のあり方に関する基本的な歴史的知識とともに理解し、諸子百家の思想を、特に儒家思想と老荘思想を中心に理解する。また、それらの思想の展開について学ぶ。</p> <p>・我が国における仏教の受容について、聖徳太子による仏教導入、国家仏教の成立、日本独自の仏教の発展、民衆の暮らしと仏教のかかわりなどについて知る。</p> <p>・平安仏教における最澄と空海の思想の相違や、鎌倉新仏教</p>	<p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことができる。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。 	○	○	○	7
<ul style="list-style-type: none"> 国学の形成 幕末の思想 西洋思想の受容と展開 	<p>・仏教や儒教のような外来思想に対して、「万葉集」や「古事記」といった我が国独自の古典の研究を基礎として江戸時代に展開した国学の成立について知る。</p> <p>・我が国における国学の発展について、寛政異論による万葉集の研究や本居宣長による古事記の研究を中心に、「もののあはれ」や「真心」を重視した人間の在り方生き方について理解する。</p> <p>・我が国における近代化の特徴について、西洋文化の受容という観点から、福澤諭吉の「西洋事情」や「西洋事情」などの考え方について理解する。</p> <p>・新渡戸稲子の「武士道」や夏目漱石の「自己本位」の考え方を事例として、国際社会に生きる日本人としての在り方や日本人としてのアイデンティティについて説明できる。</p>	<p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことができる。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。 	○	○	○	7
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>現代に生きる人間の倫理</p> <ul style="list-style-type: none"> 民主社会の形成 人格の尊厳 個人と社会の調和 社会の進歩と改善 社会の変革 主体性の自覚 	<p>・ホッブズ、ロック、ルソーの二つの社会契約論について、国家（政府）の成り立ちや個人の権利についての考え方の相違に着目し、社会と個人のかかわりに焦点を当てて理解する。</p> <p>・個人と社会の調和を、マルサースや啓蒙改革を主導した人々の考え方や、モリス、カントの思想等を具体的に例示して、近代的な個人を特徴付ける自由に対する意義及び人間の尊厳について説明できる。</p> <p>・ベナムや、カ、ミルが功利主義の考え方を提唱し、「最大多数の最大幸福」を追求することで市民社会の諸矛盾を解決しようとしたことを理解する。</p> <p>・ヘーゲルやマルクス、功利主義の思想家などが、近代市民社会の諸矛盾を解決するために打ち立てた思想や考え方について、当時の社会状況を踏まえて説明できる。</p>	<p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことができる。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。 	○	○	○	14
<p>定期考査</p>			○	○		1
<ul style="list-style-type: none"> 理性の深層への反省 現代の課題を考える 総合学習 	<p>・人間や社会のあり方の急激な変化による近代的合理性への問い直しとして、実存哲学、フランクフルト学派、構造主義、分析哲学、ポスト構造主義など現代思想の人間観を理解し、自己の生き方・あり方や望ましい社会のあり方について考える。</p> <p>・各々の生命や密、医療の課題などについて理解を深め、よりよい生き方や、よりよくともに生きる社会について考える。</p> <p>・今までの学習を踏まえ、大学入学共通テストや私大入試に対応できる学力を身に付ける。</p>	<p>現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにできる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養うことができる。 よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民主権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深めることができる。 	○	○	○	14

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学Ⅲ

教科： 数学

科目： 数学Ⅲ

単位数： 6 単位

対象学年組： 第 3 学年 3 4 5 6 組

教科担当者： (35組：本間) (46組：松重・本間)

使用教科書： (高等学校数学Ⅲ～数研出版、青チャート式数学Ⅲ～数研出版)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 数学Ⅲ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
極限、微分法及び積分法についての概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。	数列や関数の値の変化に着目し、極限について考察したり、関数関係をより深く捉えて事象を的確に表現し、数学的に考察したりする力。 いろいろな関数の局所的な性質や大域的な性質に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。	数学のよさを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論理に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>第3章 微分法</p> <p>第1節 導関数</p> <p>微分係数や導関数の定義を理解し、導関数についての様々な性質や公式を導き、それらを導関数の計算に活用できるようにする。</p>	<p>・指導事項 微分係数と導関数 導関数の計算</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○定義にしたがって微分係数を求めることができる。 ○導関数を、微分係数を与える関数として理解している。 ○定義にしたがって導関数を求めることができる。 ○積の導関数の公式を適用して、関数を微分できる。 ○商の導関数の公式を適用して、関数を微分できる。 ○合成関数の導関数を求めることができる。 ○逆関数の微分法を用いて、導関数を求めることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連続性が微分可能性の必要条件であるが十分条件ではないことを具体的な関数を用いて考察できる。 ○これまで学んだ公式を用いて、新たな公式を証明することができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○連続であっても微分可能でない関数が存在することに興味をもつ。 ○$(x^a)'' = ax'(a-1)$ において、a の範囲が自然数、整数、有理数と拡張されていくことに興味をもち、その展開について理解を深めようとする。 	○	○	○	9
<p>第2節 いろいろな関数の導関数</p> <p>導関数の定義や公式を適用して、いろいろな関数の導関数を導き、それを用いて関数が微分できるようにする。また、陰関数や媒介変数で表された関数の微分もできるようにし、それらを事象の考察に活用できるようにする。</p>	<p>・指導事項 いろいろな関数の導関数 第n次導関数 曲線の方程式と導関数</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○三角関数、指数・対数を含む関数の微分ができる。 ○対数微分法を用いて複雑な関数を微分することができる。 ○高次導関数の定義や表記を理解し、種々の関数の高次導関数を求めることができる。 ○方程式 $F(x, y) = 0$ を関数(陰関数)とみる考え方を理解している。 ○方程式 $F(x, y) = 0$ を関数(陰関数)とみて微分することができる。 ○媒介変数 t で表された関数の導関数を、t を用いて表すことができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○$\log x$ の導関数について、それを考える理由とともに理解し、導関数の計算ができる。 ○第2次、第3次導関数などを求めることで、一般の第 n 次導関数を求めることができる。 ○陰関数表示 $F(x, y) = 0$ を、陽関数表示 $y = f(x)$ としなくても微分できることを理解している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○$(1+k)^{1/k}$ が $k \rightarrow 0$ のときのような値に近づいていくことに興味をもち、その値や性質について自ら調べようとする。 ○自然対数の底 e の値について、指数関数のグラフの接線の傾きという観点から見直そうとする。 ○陰関数の微分や媒介変数表示された関数の微分について、その簡便さを理解し、積極的に利用しようとする。 	○	○	○	9
<p>第4章 微分法の実用</p> <p>第1節 導関数の応用</p> <p>導関数を、接線、関数の増減、グラフなどに活用できるようにするとともに、積極的に導関数を活用しようとする姿勢を育てる。</p>	<p>・指導事項 接線の方程式、平均値の定理 関数の値の変化、関数のグラフ</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○微分係数の意味を理解しており、曲線の接線の方程式を求めることができる。 ○曲線の法線の方程式を求めることができる。 ○平均値の定理の図形的な意味を理解している。 ○導関数を用いて関数の増減、極値を調べることができる。 ○関数の極値が与えられたとき、関数を決定することができる。 ○関数の増減を調べて、最大値、最小値を求めることができる。 ○第2次導関数の図形的な意味を理解し、曲線の凹凸や変曲点を調べることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○陰関数の微分を活用して、接線の方程式を求めることができる。 ○平均値の定理を用いた不等式の証明ができる。 ○微分可能でない点でも関数が極値をもつことがあることを理解し、定義をもとに極値を求めることができる。 ○増減や凹凸、漸近線などを調べて、関数のグラフをかきことができる。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○接線や法線の方程式を、様々な導関数を活用して求めようとする。 ○存在定理である平均値の定理について、その意味を理解し、c の値を具体的に求めることで確かめようとする。 ○関数の増減の様子を調べるのに、導関数を積極的に活用しようとする。また、導関数だけでなく連続性や微分可能性、極値の定義などにも注意して、増減を丁寧に調べようとする。 	○	○	○	15
<p>第2節 いろいろな応用</p> <p>関数のグラフを方程式や不等式の考察に活用できるようにする。また、点の運動や近似式についても理解し、導関数を様々な方法で活用する姿勢を育てる。</p>	<p>・指導事項 方程式・不等式への応用 速度と加速度、近似式</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント等</p>	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○第2次導関数と極値の関係を理解している。 ○平面上を運動する点の速さと加速度の大きさを求めることができる。 ○微分係数の意味とその図形的な意味から、関数の近似式について理解し、近似式を作ることができる。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○不等式や関数の極値の条件として、関数の増減を用いて 				

1 学 期		・一人1台端末の活用 等	<p>①不等式を関数の増減の状況から捉え、関数の増減を用いて不等式の証明ができる。</p> <p>②方程式の解を関数のグラフの交点として捉え、グラフを用いて方程式の解について考察できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>③不等式を関数的視点で捉え、微分法を利用して解決しようとする。</p> <p>④点の運動の考察に微分法を活用できることに興味をもち、様々な点の運動について調べようとする。</p> <p>⑤導関数を利用して、1次の近似式を考察しようとする。</p>	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	第5章 積分法とその応用 第1節 不定積分	<p>・指導事項 不定積分とその性質 置換積分法と部分積分法 いろいろな関数の不定積分</p> <p>様々な関数の不定積分やその計算法則を導関数をもとにして考え、それをもとに不定積分を求められるようにする。</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①不定積分の意味について、積分定数も含めて理解している。</p> <p>②関数 x^a の不定積分を求めることができる。</p> <p>③三角関数や指数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>④ $f(ax+b)$ の不定積分を求めることができる。</p> <p>⑤合成関数の微分の逆演算として置換積分法を理解し、正しく適用できる。</p> <p>⑥積の微分の逆演算として部分積分法を理解し、不定積分を求めることができる。</p> <p>⑦部分積分法を用いて、対数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>⑧不定積分の公式が適用できるように式変形を工夫して、分数関数の不定積分を求めることができる。</p> <p>⑨不定積分の公式が適用できるように三角関数を適切に変形して、不定積分を求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>⑩定数倍および和、差の不定積分の公式が適用できるように式を適切に変形できる。</p> <p>⑪ $f(g(x))g'(x)$ の関数の形に着目して式を見たり変形したりすることで、不定積分の計算ができる。</p> <p>⑫部分積分法を用いるとき、どの関数を $f(x)$、$g(x)$ と考えるか、適切に判断できる。また、その根拠を説明できる。</p> <p>⑬部分積分法に分解する方法を理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑭積分法が微分法の逆演算であることから、様々な関数の不定積分を求めようとする。</p> <p>⑮簡単には不定積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。</p> <p>⑯三角関数の積を和や差の形にすることに興味をもち、その変形に用いる公式を導こうとする。</p>	○	○	○	20
	第2節 定積分	<p>・指導事項 定積分とその基本性質 置換積分法と部分積分法 定積分のいろいろな問題</p> <p>様々な関数の定積分を求められるようにする。また、定積分を面積として捉え、様々な事象の考察に活用できるようにする。</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①定積分は関数のグラフと x 軸の間の面積を表すことを理解している。</p> <p>②定積分の定義や性質を理解し、不定積分をもとに定積分を求めることができる。</p> <p>③定積分の置換積分法では、積分区間の変化に注意して計算できる。</p> <p>④三角関数で置換する置換積分法を用いて定積分を計算できる。</p> <p>⑤偶関数、奇関数の定義を理解している。</p> <p>⑥定積分の部分積分法を理解し、それを利用して定積分を計算できる。</p> <p>⑦上端が x である定積分を、x で微分することができる。</p> <p>⑧数列の和の極限を定積分を用いて求めることが⑨関数の大小と定積分の大小の関係を用いたり、定積分を図形の面積とみたりすることで、不等式の証明ができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>⑩絶対値を含む関数の定積分を、積分区間を分けて求めることができる。</p> <p>⑪ $\sqrt{a^2-x^2}$ の定積分について、円の面積と関連付けて考察できる。</p> <p>⑫偶関数、奇関数の性質を用いて定積分の計算が効率的にできる。</p> <p>⑬上端、下端に x を含む定積分を、x の関数と捉えて問題を解決できる。</p> <p>⑭定積分は定数であることを利用して、定積分を含む関数を求めることができる。</p> <p>⑮区分求積法について理解し、長方形の作り方を変えた場合などについても考察、説明ができる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <p>⑯定積分を面積と関連付けて理解を深めようとする。</p> <p>⑰簡単には不定積分が求められない関数について、置換積分法や部分積分法を用いて計算しようとする。</p> <p>⑱ $e^x \sin x$ の定積分に部分積分法を用いると同じ定積分が再び出てくることに興味をもち、その計算方法を考察しようとする。</p> <p>⑲ $\sin^n x$ の定積分に部分積分法を用いると漸化式が導かれることに興味をもち、その計算方法や計算結果について考察しようとする。</p> <p>⑳曲線で囲まれた部分の面積を、細長い長方形の面積の和の極限と捉えることに興味をもち、定積分と数列の和の極限との関係を考察しようとする。</p>	○	○	○	20
第3節 積分法の応用	<p>・指導事項 面積、体積、道のり、曲線の長さ</p> <p>定積分を活用して、面積、体積、曲線の長さなどを求められるようにし、またそれらを通して定積分の理解をさらに深める。</p> <p>・教材 教科書、問題集、プリント等</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】</p> <p>①定積分を用いて図形の面積を求めることができる。</p> <p>②曲線 $x=g(y)$、$F(x, y)=0$ で表される曲線で囲まれた部分の面積を求めることができる。</p> <p>③定積分で体積が求められる仕組みを、区分求積法で面積が求められることと関連付けて理解している。</p> <p>④ x 軸、y 軸周りの回転体の体積を求めることができる。</p> <p>⑤数直線上で運動する点の座標や通過した道のりを、定積分を用いて求めることができる。</p> <p>⑥座標平面上で運動する点の通過する道のりを、定積分を用いて求めることができる。</p> <p>⑦媒介変数表示された曲線の長さを、座標平面上で点が通過した道のりと関連させて理解している。</p> <p>⑧媒介変数表示された曲線の長さを求めることができる。</p> <p>⑨曲線 $y=f(x)$ の長さを求めることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】</p> <p>⑩媒介変数表示された曲線で囲まれた図形の面積を、置換積分法を活用して求めることができる。</p> <p>⑪立体の断面がどのような図形になるか考え、定積分を用いて体積を求めることができる。</p> <p>⑫ $F(x, y)=0$ で表される曲線や媒介変数表示された曲線で囲まれる図形を回転させてできる回転体の体積を求めることができる。</p> <p>⑬数直線上を運動する点が通過する道のりについて、$v-t$ グラフで囲まれた部分の面積と関連付けて考察できる。</p>	○	○	○	15	

年間授業計画 様式例

東京都立上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学演習

教科： 数学 科目： 数学演習 単位数： 6 単位

対象学年組： 第 3 学年 3 組～ 6 組 授業選択者

教科担当者： （3組～6組：松重・高橋）

使用教科書： （ 数研出版 高等学校数学Ⅰ、高等学校数学A、高等学校数学Ⅱ、高等学校数学B、高等学校数学C ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 数学演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅰ・Aに比べ、よりハイレベルな計算問題をまずは自力で解けるようになる。問題に応じて適当な公式を用いて問題解決に繋げることができる。	これまでに培った数学力を、問題演習を通じて発揮することができる。未知なる問題を既知なる問題に近づけ、問題を解決していくことができる。	予習をし、どこかの理解が不十分か自己把握した状態で授業に臨もうとするようになること。授業で扱われた問題だけでなく、関連する問題を自ら解決に繋がられるように取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○ 式と証明 【知識及び技能】 基本的な「二項定理・多項式の除法・分數式の計算」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 単純な計算問題ではなく、自ら意図をもって立式し、それを解くことで求めたい解が求められるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	16
	○ 複素数と方程式 【知識及び技能】 基本的な「複素数の計算・剰余の定理・因数定理」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	16
	定期考査			○	○		1
	○ 図形と方程式 【知識及び技能】 「点・直線・円」に関する基本的な問題を関連する公式を用いて解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多角的に捉え、様々な解法が存在することを理解し、その中で最適な解法を選ぶことができることともに、最適な解法である理由まで説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	14
	○ 三角関数 【知識及び技能】 基礎的基本的な三角関数の問題を、公式や性質を理解して解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 未知なる問題を少し工夫し、数学Ⅰなどより低いレベルの問題に落とし、解き進めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	16
定期考査			○	○		1	
○ 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数と対数関数の関係について理解し、累乗根から指数を用いた表し方に直して計算をすることができる。指数法則が、自然数より広く拡張されても成立することが分かつ	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求さ					

	<p>て使うことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数どちらも底を適切に評価し、増加関数が減少関数か把握したうえで問題解決に繋げることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>					○	○	○	16
	<p>○ 微分法・積分法</p> <p>【知識及び技能】 x についての微分を誤りなく解くことができる。また、微分を用いて解く基本的な問題（接線の方程式問題・3次関数問題）を解くことができる。また、積分に関する基本的問題が解ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 微分と積分の関係を理解し、意図を持って正しい計算（微分・積分）をすることが出来る。グラフの性質から、面積の計算をより簡単に行うために式を変形することができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習</p> <p>・教材 教科書、参考書、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。</p> <p>・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。</p> <p>・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>			○	○	○	18
	定期考査					○	○		1
2 学 期	<p>○ 数列</p> <p>【知識及び技能】 等差数列・等比数列に関する基本的な事項を理解し、一般項を誤りなく導くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 漸化式の特徴から、適する解法を選び（特性方程式の利用・ある数で割って置き換えなど）問題を解き進めることができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習</p> <p>・教材 教科書、参考書、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。</p> <p>・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。</p> <p>・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>			○	○	○	14
	<p>○ 統計的な推測</p> <p>【知識及び技能】 二項分布、正規分布などに関連する基本的計算をすることが出来る。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章問題からデータの規則を数値におこし、正規分布表から確率を求めたり、標準化を適するタイミングで行うことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習</p> <p>・教材 教科書、参考書、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。</p> <p>・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。</p> <p>・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>			○	○	○	8
	<p>○ ベクトル</p> <p>【知識及び技能】 ベクトルに関する基本的な計算（和・差・スカラー倍・内積）をすることができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 問題文の条件から、考えられるベクトルにおける性質に読み替え、問題を解決していける立式ができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習</p> <p>・教材 教科書、参考書、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。</p> <p>・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。</p> <p>【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。</p> <p>・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>			○	○	○	12
	定期考査					○	○		1
	<p>○ 総合問題演習（数学Ⅱ・B・C）</p> <p>【知識及び技能】 基本的な計算問題を誤りなく解くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 文章題などの発展的問題に対応でき、正答が導けるようになる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習</p> <p>・教材 教科書、参考書、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>				○	○	○	4

3 学 期	○ 共通テスト実践問題（数学Ⅱ・B・C） 【知識及び技能】 各大問の最初の部分の問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 各大問の後半部分の発展的問題を筋道立てて解くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等					4
							合計
							142

年間授業計画 様式例

東京都立上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 文系数学 I

教科： 数学 科目： 文系数学 I 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組 授業選択者

教科担当者： (月67：上野) (木12：上野)

使用教科書： (数研出版 高等学校数学 I、高等学校数学 A)

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 文系数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
大学入試に必要な計算問題をまずは自力で解けるようになる。問題に応じて適当な公式を用いて問題解決に繋げることができる。	これまでに培った数学力を、問題演習を通じて発揮することができる。未知なる問題を既知なる問題に近づけ、問題を解決していくことができる。	予習をし、どこかの理解が不十分か自己把握した状態で授業に臨もうとするようになること。授業で扱われた問題だけでなく、関連する問題を自ら解決に繋げられるように取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	○ 数と式、集合と命題、2次関数(1) 【知識及び技能】 基本的な「数と式、集合と命題、2次関数(1)」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 単純な計算問題ではなく、自ら意図をもって立式し、それを解くことで求めたい解が求められるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○		4
	○ 2次関数(2)、図形と計量 【知識及び技能】 基本的な「2次関数(2)、図形と計量」に関する問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○		4
	定期考査			○	○			1
	○ 図形と計量、データの分析 【知識及び技能】 基本的な「図形と計量、データの分析」に関する問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○		4
	○ 場合の数と確率、図形の性質 【知識及び技能】 基本的な「場合の数と確率、図形の性質」に関する問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい個所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○		6
定期考査			○	○			1	
○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求さ						

	<p>を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>		<p>れている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>	○	○	○	4
	<p>○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
2 学期	<p>○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>	○	○	○	3
	<p>○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>	○	○	○	3
	<p>○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>	○	○	○	3
	定期考査			○	○		1
	<p>○ 大学入試問題演習 【知識及び技能】 基本的な大学入試問題を解くことが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>		○	○	○	2

年間授業計画 様式例

東京都立上野 高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 文系数学Ⅱ

教科： 数学 科目： 文系数学Ⅱ 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 1 2 7 8 組 授業選択者

教科担当者： （月67：本間）

使用教科書： （ 数研出版 高等学校数学Ⅱ、高等学校数学B、高等学校数学C ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 文系数学Ⅱ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数学Ⅰ・Aに比べ、よりハイレベルな計算問題をまずは自力で解けるようになる。問題に応じて適当な公式を用いて問題解決に繋げることができる。	これまでに培った数学力を、問題演習を通じて発揮することができる。未知なる問題を既知なる問題に近づけ、問題を解決していくことができる。	予習をし、どこかの理解が不十分か自己把握した状態で授業に臨もうとするようになること。授業で扱われた問題だけでなく、関連する問題を自ら解決に繋げられるように取り組むこと。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	○ 式と証明 【知識及び技能】 基本的な「二項定理・多項式の除法・分数式の計算」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 単純な計算問題ではなく、自ら意図をもって立式し、それを解くことで求めたい解が求められるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	○ 複素数と方程式 【知識及び技能】 基本的な「複素数の計算・剰余の定理・因数定理」に関する問題を解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 自分で使うべきタイミングを理解して適当な定理・公式を使って問題を解決に導くことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
	○ 図形と方程式 【知識及び技能】 「点・直線・円」に関する基本的な問題を関連する公式を用いて解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題を多角的に捉え、様々な解法が存在することを理解し、その中で最適な解法を選ぶことができることともに、最適な解法である理由まで説明できる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	5
	○ 三角関数 【知識及び技能】 基礎的基本的な三角関数の問題を、公式や性質を理解し使って解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 未知なる問題を少し工夫し、数学Ⅰなどより低いレベルの問題に落とし、解き進めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。	○	○	○	5
定期考査			○	○		1	
○ 指数関数・対数関数 【知識及び技能】 指数関数と対数関数の関係について理解し、累乗根から指数を用いた表し方に直して計算をすることができる。指数法則が、自然数より広く拡張されても成立することが分かつ	・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求さ					

	<p>て使うことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 指数関数・対数関数どちらも底を適切に評価し、増加関数が減少関数を把握したうえで問題解決に繋げることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>					○	○	○	4					
	<p>○ 微分法・積分法 【知識及び技能】 x についての微分を誤りなく解くことができる。また、微分を用いて解く基本的な問題（接線の方程式問題・3次関数問題）を解くことができる。また、積分に関する基本的問題が解ける。 【思考力、判断力、表現力等】 微分と積分の関係を理解し、意図を持って正しい計算（微分・積分）をすることが出来る。グラフの性質から、面積の計算をより簡単に行うために式を変形することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>知識・技能 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>						○	○	○	4		
	定期考査					○	○							1
2 学 期	<p>○ 数列 【知識及び技能】 等差数列・等比数列に関する基本的な事項を理解し、一般項を誤りなく導くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 漸化式の特徴から、適する解法を選び（特性方程式の利用・ある数で割って置き換えなど）問題を解き進めることが出来る。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>知識・技能 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>			○	○	○	3					
	<p>○ 統計的な推測 【知識及び技能】 二項分布、正規分布などに関連する基本的計算をすることが出来る。 【思考力、判断力、表現力等】 文章問題からデータの規則を数値におこし、正規分布表から確率を求めたり、標準化を適するタイミングで行うことができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>知識・技能 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>			○	○	○	3					
	<p>○ ベクトル 【知識及び技能】 ベクトルに関する基本的な計算（和・差・スカラー倍・内積）をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 問題文の条件から、考えられるベクトルにおける性質を読み替え、問題を解決していける立式ができる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>	<p>知識・技能 ・公式を使い、計算問題を解くことができる。 ・グラフ・図を描き、問題解決に繋げることができる。 【思考・判断・表現】 ・問題文を読み解き、自らで立式し、要求されている答えを導くことができる。 ・別解法にも目を向け、様々な解法で解けるなど、多角的に問題を理解しようとする。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・予習をしている。</p>			○	○	○	3					
	定期考査					○	○							1
	<p>○ 総合問題演習（数学Ⅱ・B・C） 【知識及び技能】 基本的な計算問題を誤りなく解くことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 文章題などの発展的問題に対応でき、正答が導けるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習 ・教材 教科書、参考書、問題集 ・一人1台端末の活用 等</p>				○	○	○	2					

3 学 期	<p>○ 共通テスト実践問題（数学Ⅱ・B・C）</p> <p>【知識及び技能】 各大問の最初の部分の問題を解くことができる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 各大問の後半部分の発展的問題を筋道立てて解くことができる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 予習をし、自身の理解が乏しい箇所を明らかにして授業に臨む姿勢を見せる。</p>	<p>・指導事項 既習事項の確認と問題演習</p> <p>・教材 教科書、参考書、問題集</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>					2			
								○	○	○
										43

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 数学 科目 数学C

教科： 数学 科目： 数学C 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 3 組～ 6 組

教科担当者： 松重・外尾

使用教科書：（ 高等学校数学C～数研出版、基礎からの数学Ⅲ+C～数件出版、 ）

教科 数学 の目標：

【知識及び技能】 基本的な概念や原理法則を体系的に理解し、事象の数学化・数学的な解釈・数学的な表現や処理をする技能を身につけるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 数学を活用して論理的に考察する力、事象の本質や他との関係を認識し統合発展する力、数学的な表現で簡潔明瞭的確に事象を表現する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 積極的に数学を活用し粘り強く考える態度、問題解決の過程を振り返る考察を深め評価・改善しようとする態度の基礎を養う。

科目 数学C の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学的な表現の工夫について認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身につけるようにする。	大きさや向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。	数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
第3章 複素数平面 複素数平面において複素数の演算がどのように表されるかを理解し、複素数の計算を図形を用いて考察するとともに、図形の考察に複素数の計算を活用できるようにする。	・指導事項 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 複素数と図形 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○共役複素数の性質を理解し、用いることができる。 ○複素数の極形式について理解し、複素数を極形式で表すことができる。 ○極形式で表された複素数の積と商を求めることができる。 ○複素数の積や商について、絶対値と偏角だけに注目した性質を理解している。 ○複素数の積や商が複素数平面上で何を表すか理解している。 ○ド・モアブルの定理を理解し、複素数の n 乗を求めることができる。 ○1の n 乗根を求めることができる。 ○原点以外の点を中心として回転した点を表す複素数を求めることができる。 ○複素数平面上で半直線のなす角を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○1つの複素数が複素数平面上で1つの点を表すことを理解し、点を複素数平面上に表すことができる。 ○複素数の和、差を複素数平面上に図示できる。 ○複素数の積の図形的な意味を活用して、正三角形の頂点となる複素数を求めることができる。 ○複素数の n 乗根がちょうど n 個存在することを、極形式を用いて考察できる。 ○1の n 乗根の求め方をもとに、一般の複素数の n 乗根を求めることができる。 ○線分の内分点を表す複素数を利用して、線分の内分点や外分点を表す複素数や三角形の重心を表す複素数を求めることができる。 ○複素数平面上における半直線のなす角や線分の長さを活用して、三角形の形状について考察できる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○複素数 z が実数や純虚数になる条件について、様々な方法で考察しようとする。 ○複素数の積の図形的な意味から、ド・モアブルの定理を自ら見出したり証明したりしようとする。 ○図形の問題を、複素数の演算の図形的意味を用いて積極的に考察しようとする。 ○複素数平面上の三角形の形状が1つの複素数で決定されることに興味をもち、三角形の形状を調べようとする。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
第4章 式と曲線 第1節 2次曲線 放物線、楕円、双曲線の定義や性質を理解し、それらを図示したり、問題の解決に活用したりできるようにする。また、離心率を用いて2次曲線を統一的に捉えられるようにする。	・指導事項 放物線、楕円、双曲線 2次曲線の平行移動 2次曲線と直線 2次曲線の性質 ・教材 教科書、問題集、プリント等 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 ○放物線が、焦点と準線からの距離が等しい点の軌跡であることを理解している。 ○放物線の標準形について理解し、放物線の概形をかいたり焦点や準線を求めたりできる。また、条件から放物線の方程式を求めることができる。 ○y 軸が軸となる放物線の概形をかきことができる。 ○楕円が、2つの焦点からの距離の和が一定である点の軌跡であることを理解している。 ○楕円の標準形について理解し、楕円の概形をかいたり焦点や長軸、短軸の長さを求めたりできる。 ○焦点が y 軸上にある楕円の概形をかいたり、焦点や長軸、短軸の長さを求めたりできる。 ○双曲線が、2つの焦点からの距離の差が一定である点の軌跡であることを理解している。 ○双曲線の標準形について理解し、双曲線の概形をかいたり焦点や頂点、漸近線を求めたりできる。 ○焦点が y 軸上にある双曲線の概形をかいたり、焦点や頂点、漸近線を求めたりできる。 ○x, y の2次式を変形して、2次曲線の概形を考察することができる。 ○2次曲線の接線の方程式一般形について理解し、接点を与えられたときに接線を求めることができる。 【思考・判断・表現】 ○軌跡の考え方を活用して、放物線・楕円の方程式を導くことができる。 ○曲線 $F(x-p, y-q)=0$ は曲線 $F(x, y)=0$ を平行移動したものであることを理解している。 ○2次曲線と直線の共有点を連立方程式の解と捉え、共有点の個数について考察できる。 ○2次曲線と直線の接点を連立方程式の重解と捉え、接線の方程式を求めることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ○放物線を、条件を満たす点の軌跡として捉えなおそうとする。 ○焦点が y 軸上にある楕円の方程式について、焦点が x 軸上にある楕円をもとに考察しようとする。 ○双曲線の漸近線について、曲線が限りなく近づくことを確かめようとする。 ○中学で学んだ反比例のグラフが双曲線であることを興味をもち、双曲線の定義を満たしていることを確かめようとする。 ○複雑な方程式で表される2次曲線について、平行移動の考えを利用して調べようとする。	○	○	○	8

1 学期

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理

教科： 理科 科目： 物理 単位数： 4 単位

対象学年組： 第 3 学年 3, 4, 5, 6 組

教科担当者： (漢達)

使用教科書： (高等学校 物理 [第一学習社])

教科 理科 の目標

【知識及び技能】 自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事象・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事象・現象に主体的に関わり、探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数	
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を書くことができる。 ・力のつりあいを活用して、さまざまな形状の剛体の重心を考察することができる。 ・運動量と力積 ・反動係数 ・運動量保存の法則 ・反動係数 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のつりあいを活用して、さまざまな形状の剛体の重心を考察することができる。 ・運動量と力積の関係を理解し、運動量保存の法則を導き、直線上や平面上での衝突、物体が分裂、合体する場合のそれぞれで、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 ・反動係数を学習し、反動係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 ・弾性衝突する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求められることができる。 ・観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 ・導体における自由電子の運動に着目し、抵抗や抵抗率との関係を考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件での衝突について、運動量保存の法則を導き出すことができる。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 	<p>＜平面運動と放物運動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜剛体のつりあい＞ ＜剛体にはたらく力とその合力＞ ＜剛体の重心のつりあい＞ <p>＜運動量と力積＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜運動量保存＞ ＜衝突＞ ＜反動係数＞ <p>＜円運動と単振動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜円運動＞ ＜電性力と遠心力＞ ＜単振動＞ ＜万有引力による運動＞ 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を書くことができる。 ・力のつりあいを活用して、さまざまな形状の剛体の重心を考察することができる。 ・運動量と力積の関係を理解し、運動量保存の法則を用いて、運動量保存の法則を導き出すことができる。 ・等速円運動の角速度、周期、回転数を学習し、角速度と向心力を理解する。 ・遠心力を含めた慣性力を学習し、物体にはたらく力を異なる観測者の立場で把握できるようにする。 ・ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ・ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のつりあいを活用して、さまざまな形状の剛体の重心を考察することができる。 ・運動量と力積の関係を理解し、運動量保存の法則を用いて、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 ・反動係数を学習し、反動係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 ・弾性衝突する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求められることができる。 ・観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 ・導体にはたらく力の違いを説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件で起こる衝突について、運動量保存の法則を導き出すことができる。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 ・遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて意図的に考えようとする。 					27
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水素の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折などについて理解する。 ・波の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄膜による干渉、くさび形空気層による干渉など、さまざまな場合における干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場と電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態方程式を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できること、p-Vグラフから熱効率を読み取ることを理解し、正負の式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りを考えることができる。 ・日常での経験と照らし合わせて気体の圧力と体積、温度の関係を考え、物理学的に理解しようとしている。 ・身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 	<p>＜気体の性質と分子の運動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜気体の法則＞ ＜気体の分子運動＞ ＜気体の内部エネルギーと仕事＞ <p>＜波の性質＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜音波＞ ＜波の伝わり方＞ <p>＜電場＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜電場＞ ＜電位＞ ＜コンデンサー＞ <p>＜電流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜電流と抵抗＞ ＜直流回路＞ ＜半導体＞ 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態方程式に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水素の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折などについて理解する。 ・波の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄膜による干渉、くさび形空気層による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場と電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態方程式を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できること、p-Vグラフから熱効率を読み取ることを理解し、正負の式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常での経験と照らし合わせて気体のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件で起こる衝突について、運動量保存の法則を導き出すことができる。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 ・遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて意図的に考えようとする。 					1
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水素の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折などについて理解する。 ・波の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄膜による干渉、くさび形空気層による干渉など、さまざまな場合における干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場と電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態方程式を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できること、p-Vグラフから熱効率を読み取ることを理解し、正負の式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りを考えることができる。 ・日常での経験と照らし合わせて気体の圧力と体積、温度の関係を考え、物理学的に理解しようとしている。 ・身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 	<p>＜気体の性質と分子の運動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜気体の法則＞ ＜気体の分子運動＞ ＜気体の内部エネルギーと仕事＞ <p>＜波の性質＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜音波＞ ＜波の伝わり方＞ <p>＜電場＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜電場＞ ＜電位＞ ＜コンデンサー＞ <p>＜電流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜電流と抵抗＞ ＜直流回路＞ ＜半導体＞ 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態方程式に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水素の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回折などについて理解する。 ・波の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄膜による干渉、くさび形空気層による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場と電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態方程式を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できること、p-Vグラフから熱効率を読み取ることを理解し、正負の式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常での経験と照らし合わせて気体のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件で起こる衝突について、運動量保存の法則を導き出すことができる。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 ・遠心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて意図的に考えようとする。 					33

2 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電流と磁場 ・電磁誘導と交流 ・電子と光 ・原子と原子核 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電流に関するクーロンの法則を学習し、電流が流れる磁場の強さと磁場線の形状について理解する。 ・磁場中で電流が受ける力について、フレミングの左手の法則や右ねじの関係を用いて定量的に理解する。 ・磁束密度と磁場との関係、磁化の性質を理解し、平行電流間にはたらく力を定量的に理解する。 ・ローレンツ力について学習し、磁場中に入射した粒子の運動を理解する。 ・フレミングの電磁誘導の法則を学習し、磁場中を動く導体に生じる起電力や、導体を動かすのに要する力や仕事の関係を理解する。 ・自己誘導、相互誘導の現象を理解し、生じる起電力を計算する。 ・変圧器のしくみを理解する。 ・光電効果とその特徴を学習し、光電子の運動エネルギーと仕事関数との関係を定量的に理解する。 ・物質波の意味を理解し、その波長や運動量の関係を理解する。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電流と磁場 ・磁場 ・電流が流れる磁場 ・電流が磁場から受ける力 ・ローレンツ力 ・電磁誘導と交流 ・電磁誘導 ・事故誘導と相互誘導 ・交流 ・電磁波 ・電子と光 ・電子 ・光の粒子性 ・X線 ・粒子の波動性 <p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁気力に関するクーロンの法則を学習し、電流が流れる磁場の強さと磁場線の形状について理解する。 ・磁束密度と磁場との関係、磁化の性質を理解し、平行電流間にはたらく力を定量的に理解する。 ・ローレンツ力について学習し、磁場中に入射した粒子の運動を理解する。 ・自己誘導、相互誘導の現象を理解し、生じる起電力を計算する。 ・変圧器のしくみを理解する。 ・光電効果とその特徴を学習し、光電子の運動エネルギーと仕事関数との関係を定量的に理解する。 ・物質波の意味を理解し、その波長や運動量の関係を理解する。 	○	○	○	34
	<p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローレンツ力の性質を把握すること、金属中の電子の運動をもとにホール効果について考察できる。 ・さまざまな電磁誘導の現象において、誘導起電力の大きさと向きを考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁場中の荷電粒子の運動について意欲的に考察しようとする。 ・コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、ファラデーの電磁誘導の法則を見出して理解する。 ・交流が発生するしくみに関心をもち、抵抗、コイル、コンデンサーの特性を考えようとする。 ・これまでに学習した荷電粒子の運動をもとに、トムソンやミリカンの実験のしくみを考え、式を用いて理解しようとする。 ・光電効果の特徴について、その実験過程から意欲的に意味を理解しようとする。 	<p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁場中の荷電粒子の運動について意欲的に考察しようとする。 ・コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、ファラデーの電磁誘導の法則を見出して理解する。 ・交流が発生するしくみに関心をもち、抵抗、コイル、コンデンサーの特性を考えようとする。 ・これまでに学習した荷電粒子の運動をもとに、トムソンやミリカンの実験のしくみを考え、式を用いて理解しようとする。 ・光電効果の特徴について、その実験過程から意欲的に意味を理解しようとする。 	○	○	○	1
3 学 期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト特有の問題をとおして、グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト特有の問題をとおして、グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	○	○	○	34
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 				24
						合計
						156

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理実践

教科： 理科 科目： 物理実践 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 3, 4, 5, 6 組

教科担当者： (漢達)

使用教科書： (高等学校 物理 [第一学習社])

教科 理科 の目標

【知識及び技能】 自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 物理実践 の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。表面的内容についても理解することが出来る。	自然の事象・現象の中に問題を見だし、迅速に思考し、観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。科学的な内容についても思考し、数式で表現することができる。	自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を書くことができる。 力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 運動量について学習し、運動方程式を用いて、運動量の変化と力積の関係を理解する。 等速円運動の角速度、周期、回転数、進路を学習し、加速度と向心力を理解する。 連心力を含めた慣性力を学習し、物体にはたらく力を異なる観測者の立場で把握できるようにする。 ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考察することができる。 運動量と力積の関係をjついで、運動量保存の法則を導き、直線上や平面上での衝突、物体が衝突する前後の速度、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 単振り子やばね振り子にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 導体中における自由電子の運動に着目し、抵抗や抵抗率との関係を考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考察し、物理学的に理解しようとする。 運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件でおこる衝突について、運動量保存の法則を定量的に導出しようとする。 等速円運動をしている物体の、 	<p>＜平面運動と放物運動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ＜剛体のつりあい＞ 剛体にはたらく力とその合力 剛体の重心のつりあい ＜運動量と力積＞ 運動量と力積 運動量保存の法則 反発係数 ＜円運動と単振り子＞ 円運動 電位と連心力 単振り子 万有引力による運動 <p>の発展的な内容を扱い、演習も行う。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> 水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表す式を書くことができる。 力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 運動量について学習し、運動方程式を用いて、運動量の変化と力積の関係を理解する。 等速円運動の角速度、周期、回転数、進路を含めた慣性力を学習し、物体にはたらく力を異なる観測者の立場で把握できるようにする。 ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 力のつりあいを用いて、さまざまな形状の剛体の重心を考察することができる。 運動量と力積の関係をjついで、運動量保存の法則を導き、直線上や平面上での衝突、物体が衝突する前後の速度、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 単振り子やばね振り子にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考察し、物理学的に理解しようとする。 運動量の変化と力積との関係を用いて、さまざまな条件でおこる衝突について、運動量保存の法則を定量的に導出しようとする。 等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に調べようとしている。 連心力などの慣性力について、身近な例と結びつけて定量的に考えようとする。 				12
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボイルの法則やシャルルの法則などの気体の状態方程式について理解する。 理想気体の状態方程式について理解する。 気体の内部エネルギー、気体の体積変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回り方について理解する。 波源の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 電場の基本的な性質を学習し、電場と電磁力線の関係、一様な電場について理解する。 電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電磁力線の関係について理解する。 コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電率、誘電率について理解する。 電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定積変化や定圧変化などの気体の状態方程式を学習し、各状態方程式で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 熱機関の熱効率を復習し、気体の状態方程式と関連させて理解する。 気体の状態方程式について、p-Vグラフから図形的に読み取ることが出来る。 位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件について式を適用する。 静電誘導、誘電率が導き、電場中の電位、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の状態方程式に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入り 	<p>＜気体の性質と分子の運動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の法則 気体の分子運動 気体の内部エネルギーと仕事 <p>＜波の性質＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 正弦波 波の伝わり方 <p>＜音波＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 音の伝わり方 ドップラー効果 <p>＜光波＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 光の性質 レンズと鏡 光の回折と干渉 <p>＜電場・電位＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 正負電 静電気力 電場 電位 コンデンサー <p>＜電流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 電流と抵抗 直流回路 半導体 <p>の発展的な内容を扱い、演習も行う。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボイルの法則やシャルルの法則などの気体の状態方程式について理解する。 理想気体の状態方程式について理解する。 気体の内部エネルギー、気体の体積変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回り方について理解する。 波源の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 電場の基本的な性質を学習し、電場と電磁力線の関係、一様な電場について理解する。 電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電磁力線の関係について理解する。 コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電率、誘電率について理解する。 電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定積変化や定圧変化などの気体の状態方程式を学習し、各状態方程式で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 熱機関の熱効率を復習し、気体の状態方程式と関連させて理解する。 気体の状態方程式について、p-Vグラフから図形的に読み取ることが出来る。 位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件について式を適用する。 静電誘導、誘電率が導き、電場中の電位、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常での経験と照らし合わせて気体の圧力・体積・温度の関係を考察し、物理学的に理解しようとしている。 身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 				17
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボイルの法則やシャルルの法則などの気体の状態方程式について理解する。 理想気体の状態方程式について理解する。 気体の内部エネルギー、気体の体積変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回り方について理解する。 波源の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 電場の基本的な性質を学習し、電場と電磁力線の関係、一様な電場について理解する。 電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電磁力線の関係について理解する。 コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電率、誘電率について理解する。 電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定積変化や定圧変化などの気体の状態方程式を学習し、各状態方程式で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 熱機関の熱効率を復習し、気体の状態方程式と関連させて理解する。 気体の状態方程式について、p-Vグラフから図形的に読み取ることが出来る。 位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件について式を適用する。 静電誘導、誘電率が導き、電場中の電位、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の状態方程式に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入り 	<p>＜気体の性質と分子の運動＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 気体の法則 気体の分子運動 気体の内部エネルギーと仕事 <p>＜波の性質＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 正弦波 波の伝わり方 <p>＜音波＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 音の伝わり方 ドップラー効果 <p>＜光波＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 光の性質 レンズと鏡 光の回折と干渉 <p>＜電場・電位＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 正負電 静電気力 電場 電位 コンデンサー <p>＜電流＞</p> <ul style="list-style-type: none"> 電流と抵抗 直流回路 半導体 <p>の発展的な内容を扱い、演習も行う。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ボイルの法則やシャルルの法則などの気体の状態方程式について理解する。 理想気体の状態方程式について理解する。 気体の内部エネルギー、気体の体積変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の反射・屈折、波の回り方について理解する。 波源の移動と波長の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件を理解する。 電場の基本的な性質を学習し、電場と電磁力線の関係、一様な電場について理解する。 電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電磁力線の関係について理解する。 コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電率、誘電率について理解する。 電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定積変化や定圧変化などの気体の状態方程式を学習し、各状態方程式で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 熱機関の熱効率を復習し、気体の状態方程式と関連させて理解する。 気体の状態方程式について、p-Vグラフから図形的に読み取ることが出来る。 位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな場合における光の干渉条件について式を適用する。 静電誘導、誘電率が導き、電場中の電位、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日常での経験と照らし合わせて気体の圧力・体積・温度の関係を考察し、物理学的に理解しようとしている。 身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 				1

2 学期	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁気力に関するクーロンの法則を学習し、電流が流れる磁場の強さと磁力線の概形について理解する。 ・電場の中で電流が受ける力について、フレミングの左手の法則や右ねじの関係を用いて定量的に理解する。 ・磁束密度と磁場との関係、磁化の性質を理解し、平行電流間にはたらき合う力を定量的に理解する。 ・ローレンツ力について学習し、磁場中に入射した粒子の運動を理解する。 ・フレミングの電磁誘導の法則を学習し、電場が流れる磁場の強さと磁力線の概形について理解する。 ・電磁誘導と相互誘導 ・交流 ・電磁波 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローレンツ力の性質をもとに、荷電粒子の運動を考察することができる。 ・ローレンツ力の性質を把握すると、金属中の電子の運動もまたホール効果について考察できる。 ・さまざまな電磁誘導の現象において、誘導起電力の大きさと向きを考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁場中の荷電粒子の運動について意図的に考察しようとする。 ・コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、フレミングの電磁誘導の法則を見出して理解する。 ・交流が発生するしくみに関心をもち、抵抗、コイル、コンデンサーの特性を考察しようとする。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁気力に関するクーロンの法則を学習し、電流が流れる磁場の強さと磁力線の概形について理解する。 ・電場の中で電流が受ける力について、フレミングの左手の法則や右ねじの関係を用いて定量的に理解する。 ・磁束密度と磁場との関係、磁化の性質を理解し、平行電流間にはたらき合う力を定量的に理解する。 ・ローレンツ力について学習し、磁場中に入射した粒子の運動を理解する。 ・フレミングの電磁誘導の法則を学習し、電場が流れる磁場の強さと磁力線の概形について理解する。 ・電磁誘導と相互誘導 ・交流 ・電磁波 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ローレンツ力の性質をもとに、荷電粒子の運動を考察することができる。 ・ローレンツ力の性質を把握すると、金属中の電子の運動もまたホール効果について考察できる。 ・さまざまな電磁誘導の現象において、誘導起電力の大きさと向きを考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・磁場中の荷電粒子の運動について意図的に考察しようとする。 ・コイルに棒磁石を近づけたり、遠ざけたりする実験の結果から、フレミングの電磁誘導の法則を見出して理解する。 ・交流が発生するしくみに関心をもち、抵抗、コイル、コンデンサーの特性を考察しようとする。 	○	○	○	17
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト特有の問題をとおして、グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・共通テスト特有の問題をとおして、グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	○	○	○	16
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	○	○		1
	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物理量の定義や法則の導出過程、公式の意味を理解している。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般入試の過去問等を解く。グラフから情報を読み取ったり、法則を数式化することができる。探究実験に関して考察することができる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主体的に課題に取り組むことができる。 				12
					合計	
					78	

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 物理演習

教科： 理科 科目： 物理演習 単位数： 2 単位

対象学年組： 第 3 学年 3, 4, 5, 6 組

教科担当者： (漢達)

使用教科書： (高等学校 物理 [第一学習社])

教科 理科 の目標
 【知識及び技能】 自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】 自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
自然の事象・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付けている。	自然の事象・現象の中に問題を見だし、見通しをもって観察、実験などを行い、科学的に探究する力を身に付けている。	自然の事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を身に付けている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価標準	知	思	態	配当 時数
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表すことができる。 ・力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 ・運動量について学習し、運動方程式を用いて、運動量の変化と力積の関係を理解する。 ・等速円運動の角速度、周期、回転数、速度を学習し、加速度と向心力を理解する。 ・遠心力を含めた慣性力を学習し、物体にはたらく力を異なる観測者の立場で把握できるようにする。 ・ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ・ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のつりあいを活用し、さまざまな形状の剛体の重心を考察することができる。 ・運動量と力積の関係を理解し、直線上や平面上での衝突、物体が分裂、合体する場合のそれぞれ、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 ・反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 ・単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 ・観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 ・導体中における自由電子の運動に着目し、抵抗や抵抗率との関係を考察できる。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常での経験と照らし合わせて力のモーメントを考え、物理学的に理解しようとする。 ・運動量の変化と力積との関係を理解し、さまざまな条件で衝突について、運動量保存の法則を定量的に導出しようとする。 ・等速円運動をしている物体の、向心力と角速度との関係を主体的に理解しようとする。 	<p><平面運動と放物運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<剛体のつりあい> ・<剛体にはたらく力とその合力> ・<剛体の重心のつりあい> ・<運動量と力積> ・<運動量保存の法則> ・<反発係数> ・<円運動と単振動> ・<円運動> ・<電荷性と遠心力> ・<単振動> ・<万有引力による運動> <p>上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水平投射、斜方投射の運動の特徴を踏まえ、運動のようすを表すことができる。 ・力が剛体におよぼすはたらきを考え、力のモーメントを用いて表すことができる。 ・運動量について学習し、運動方程式を用いて、運動量の変化と力積の関係を理解する。 ・等速円運動の角速度、周期、回転数、速度を学習し、加速度と向心力を理解する。 ・遠心力を含めた慣性力を学習し、物体にはたらく力を異なる観測者の立場で把握できるようにする。 ・ばね振り子や単振り子について、物体が受ける力を把握し、周期を導出できるようにする。 ・ケプラーの法則、万有引力の法則を学習し、万有引力と重力の関係を定量的に理解する。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・力のつりあいを活用し、さまざまな形状の剛体の重心を考察することができる。 ・運動量と力積の関係を理解し、直線上や平面上での衝突、物体が分裂、合体する場合のそれぞれ、運動量保存の法則が成り立つことを理解する。 ・反発係数を学習し、反発係数の値と衝突前後における力学的エネルギーの変化との関係を理解する。 ・単振動する物体にはたらく力を把握し、復元力の式を求めることができる。 ・観測者の立場によって生じる、運動する物体にはたらく力の違いを説明することができる。 ・導体中における自由電子の運動に着目し、抵抗や抵抗率との関係を考察できる。 				14
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の干渉、波の回り方について理解する。 ・波の移動と媒質の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉による干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場の電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りや考察することができる。 ・日常での経験と照らし合わせて気体の圧力と体積、温度の関係を考え、物理学的に理解しようとしている。 ・身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 	<p><気体の性質と分子の運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<気体の法則> ・<気体の分子運動> ・<気体の内部エネルギーと仕事> ・<波の性質> ・<正弦波> ・<波の伝わり方> ・<ドップラー効果> ・<光波> ・<光の性質> ・<レンズと鏡> ・<光の回折と干渉> ・<電場と電位> ・<静電気力> ・<電場> ・<電位> ・<コンデンサー> ・<電流> ・<電圧と抵抗> ・<直流回路> ・<半導体> <p>上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の干渉、波の回り方について理解する。 ・波の移動と媒質の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉による干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場の電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 				1
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の干渉、波の回り方について理解する。 ・波の移動と媒質の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉による干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場の電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りや考察することができる。 ・日常での経験と照らし合わせて気体の圧力と体積、温度の関係を考え、物理学的に理解しようとしている。 ・身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 	<p><気体の性質と分子の運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<気体の法則> ・<気体の分子運動> ・<気体の内部エネルギーと仕事> ・<波の性質> ・<正弦波> ・<波の伝わり方> ・<ドップラー効果> ・<光波> ・<光の性質> ・<レンズと鏡> ・<光の回折と干渉> ・<電場と電位> ・<静電気力> ・<電場> ・<電位> ・<コンデンサー> ・<電流> ・<電圧と抵抗> ・<直流回路> ・<半導体> <p>上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の干渉、波の回り方について理解する。 ・波の移動と媒質の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉による干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場の電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 				16
<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の干渉、波の回り方について理解する。 ・波の移動と媒質の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉による干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場の電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 <p>【学びに向かう力、人間性等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・気体の状態変化に熱力学の第1法則を適用し、エネルギーの出入りや考察することができる。 ・日常での経験と照らし合わせて気体の圧力と体積、温度の関係を考え、物理学的に理解しようとしている。 ・身のまわりの波に関する現象に関心をもち、物理学的な観点から自ら進んで考察しようとしている。 	<p><気体の性質と分子の運動></p> <ul style="list-style-type: none"> ・<気体の法則> ・<気体の分子運動> ・<気体の内部エネルギーと仕事> ・<波の性質> ・<正弦波> ・<波の伝わり方> ・<ドップラー効果> ・<光波> ・<光の性質> ・<レンズと鏡> ・<光の回折と干渉> ・<電場と電位> ・<静電気力> ・<電場> ・<電位> ・<コンデンサー> ・<電流> ・<電圧と抵抗> ・<直流回路> ・<半導体> <p>上記の範囲の、一般受験で頻出の問題を中心に演習を行い、基本知識の定着と実践力の向上を図る。</p>	<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボイルの法則やシャルルの法則などの気体に関する法則を学習し、理想気体の状態方程式について理解する。 ・気体の内部エネルギー、気体の状態変化に伴う仕事を学習し、熱力学の第1法則を理解する。 ・熱力学の第1法則や、気体の状態方程式を用いて、定積モル比熱や定圧モル比熱を考察することができる。 ・水面波の干渉を学習し、ホイヘンスの原理、平面波の干渉、波の回り方について理解する。 ・波の移動と媒質の変化を学習し、音源や観測者が動くさまざまな場合のドップラー効果について、式を用いて理解する。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉を学習し、薄板による干渉による干渉条件を理解する。 ・電場の基本的な性質を学習し、電場の電気力線の関係、一様な電場について理解する。 ・電位の基本的な性質を学習し、等電位面と電気力線の関係について理解する。 ・コンデンサーの原理を学習し、平行板コンデンサーの電気容量、誘電体、誘電率について理解する。 ・電子の運動をもとに、オームの法則やジュール熱などの式を導き、各物理量を計算できる。 <p>【思考力、判断力、表現力等】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定積変化や定圧変化などの気体の状態変化を学習し、各状態変化で熱力学の第1法則を適用できるようにする。 ・熱機関の熱効率を復習し、気体の状態変化と関連させて理解する。 ・気体の状態変化について、p-Vグラフから的確に読み取ることができる。 ・位相が表すものを理解し、正弦波を式で表すことができる。 ・ヤングの実験や回折格子による光の干渉など、さまざまな光の干渉条件について式を適用する。 ・静電誘導、誘電分極を踏まえ、電場中の導体、不導体における電場、電位のようすを理解する。 				1

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科 理科 科目 化学

教科: 理科 科目: 化学 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 3 組・4 組・5 組・6 組 (選択者)

教科担当者: (化学A:佐川) (化学B:吉田) (自選化学:佐川)

使用教科書: (化学 (数研出版))

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
<p>単元「化学反応の速さ」</p> <p>【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について、反応速度のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、反応速度について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>2編 物質の変化 3章 化学反応の速さ</p>	<p>【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 反応速度について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>		○	○	○	15
<p>単元「化学平衡」</p> <p>【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について、化学平衡とその移動を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、化学平衡とその移動について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学平衡とその移動について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>2編 物質の変化 4章 化学平衡</p>	<p>【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、化学平衡とその移動の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学平衡とその移動について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学平衡とその移動について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>		○	○	○	20
<p>1 定期考査</p>			○	○		1	

1 学 期	<p>単元「有機化合物の構造」</p> <p>【知識及び技能】 有機化合物について、炭化水素の ことを理解するとともに、それら の観察、実験などに関する技能を 身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物に関する事象・現象に 主体的に関わり、科学的に探究し ようとする態度を養う。</p>	<p>4編 有機化合物</p> <p>1章 有機化合物の分類と分析</p> <p>2章 脂肪族炭化水素</p>	<p>【知識及び技能】 有機化合物についての実験などを通して、 炭化水素の基本的な概念や原理・原則な どを理解しているとともに、科学的に探 究するために必要な実験などに関 する基本操作や記録などの基本的な技 術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、問題を見いだし見 通しをもって実験などを行い、科学的 に考察し表現しているなど、科学的に 探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素について主体的に関わり、見 通しをもったり振り返ったりするなど、 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>単元「アルコール関連化合物」</p> <p>【知識及び技能】 有機化合物について、官能基をも つ化合物のことを理解するととも に、それらの観察、実験などに 関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験 などを通して探究し、官能基をも つ化合物について見いだして表現 する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物に関する事 物・現象に主体的に関わり、科学 的に探究しようとする態度を養 う。</p>	<p>4編 有機化合物</p> <p>3章 アルコールと関連化合物</p>	<p>【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、 官能基をもつ化合物の基本的な概念や理 理・原則などを理解しているとともに、 科学的に探究するために必要な実験など に関する基本操作や記録などの基本的な 技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 官能基をもつ化合物について、問題を見 いだし見通しをもって実験などを行 い、科学的に考察し表現しているなど、 科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物について主体的に関 わり、見通しをもったり振り返りするな ど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	20
2 学 期	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>単元「芳香族化合物」</p> <p>【知識及び技能】 有機化合物について、芳香族化合 物のことを理解するとともに、 それらの観察、実験などに関する技 能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験 などを通して探究し、芳香族化合 物について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 芳香族化合物に関する事象・現象 に主体的に関わり、科学的に探究 しようとする態度を養う。</p>	<p>4編 有機化合物</p> <p>4章 芳香族化合物</p>	<p>【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、 芳香族化合物の基本的な概念や原理・原 則などを理解しているとともに、科学的 に探究するために必要な実験などに 関する基本操作や記録などの基本的な 技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 芳香族化合物について、問題を見いだ し見通しをもって実験などを行い、科学 的に考察し表現しているなど、科学的 に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 芳香族化合物について主体的に関わり、 見通しをもったり振り返りするなど、 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	15
	<p>単元「天然高分子化合物」</p> <p>【知識及び技能】 高分子化合物について、天然高 分子化合物のことを理解するととも に、それらの観察、実験などに 関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実 験などを通して探究し、天然高 分子化合物について見いだして表 現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 天然高分子化合物に関する事象・ 現象に主体的に関わり、科学的に 探究しようとする態度を養う。</p>	<p>5編 高分子化合物</p> <p>1章 高分子化合物の性質</p> <p>2章 天然高分子化合物</p>	<p>【知識・技能】 高分子化合物についての実験などを通 して、天然高分子化合物の基本的な概念 や原理・原則などを理解しているとも に、科学的に探究するために必要な 実験などに関する基本操作や記録な どの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 天然高分子化合物について、問題を見 いだし見通しをもって実験などを行 い、科学的に考察し表現しているなど、 科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 天然高分子化合物について主体的に関 わり、見通しをもったり振り返りする など、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	15
	<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元「合成高分子化合物」</p> <p>【知識及び技能】 高分子化合物について、合成高 分子化合物のことを理解するととも に、それらの観察、実験などに 関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実 験などを通して探究し、合成高 分子化合物について見いだして表 現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 合成高分子化合物に関する事象・ 現象に主体的に関わり、科学的に 探究しようとする態度を養う。</p>	<p>5編 高分子化合物</p> <p>3章 合成高分子化合物</p>	<p>【知識・技能】 高分子化合物についての実験などを通 して、合成高分子化合物の基本的な概念 や原理・原則などを理解しているとも に、科学的に探究するために必要な 実験などに関する基本操作や記録な どの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 合成高分子化合物について、問題を見 いだし見通しをもって実験などを行 い、科学的に考察し表現しているなど、 科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 合成高分子化合物について主体的に関 わり、見通しをもったり振り返りする など、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	15	
<p>単元「共通テストに向けた化学の 総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、 それらの観察、実験などに関する技 能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験な どを通して探究し、化学全般に ついて見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだ し見通しをもって実験などを行 い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。</p>	問題演習	<p>【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な 概念や原理・原則などを理解すると ともに、科学的に探究するために必要 な実験などに関する基本操作や記録 などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見 通しをもって実験などを行い、科学的 に考察し表現しているなど、科学的に 探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見 通しをもったり振り返りするなど、 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	15	
<p>定期考査</p>			○	○		1	
3 学 期	<p>単元「入試に向けた化学の総復 習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、 それらの観察、実験などに関する技 能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験な どを通して探究し、化学全般に ついて見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだ し見通しをもって実験などを行 い、科学的に考察し表現している など、科学的に探究している。</p>	問題演習	<p>【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な 概念や原理・原則などを理解すると ともに、科学的に探究するために必要 な実験などに関する基本操作や記録 などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見 通しをもって実験などを行い、科学的 に考察し表現しているなど、科学的に 探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見 通しをもったり振り返りするなど、 科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	17
合計							
156							

年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学

教科: 理科 科目: 化学 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 3 組 (選択者)

教科担当者: 安藤彰

使用教科書: (化学(数研出版))

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学

の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数	
<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>1編 物質の状態</p> <p>1章 固体の構造</p> <p>2章 状態変化</p> <p>3章 気体の性質</p> <p>4章 溶液の性質</p>	<p>【知識・技能】 物質の状態とその変化についての実験などを通して、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 物質の状態とその変化について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態とその変化について主体的に関わり、見通しをもちたり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>		○	○	○	20

1 学 期	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>2編 物質の変化 1章 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解</p>	<p>【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーについて、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーについて主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>2編 物質の変化 3章 化学反応の速さ 4章 化学平衡</p>	<p>【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 反応速度や化学平衡について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度や化学平衡について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 典型金属元素 3章 遷移金属元素</p>	<p>【知識・技能】 無機物質についての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 元素について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 元素について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	20
2 学 期	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素</p>	<p>【知識及び技能】 有機化合物についての実験などを通して、炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>4編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物</p>	<p>【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 官能基をもつ化合物について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	20
	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>5編 高分子化合物 1章 高分子化合物の性質 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物</p>	<p>【知識・技能】 高分子化合物についての実験などを通して、高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 高分子化合物について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	18
3 学 期	<p>単元「共通テストに向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>共通テスト問題演習</p>	<p>【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	17

年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学実践

教科：理科 科目：化学実践

単位数：2 単位

対象学年組：第3学年 3組 (選択者)

教科担当者：安藤彰

使用教科書：(化学(数研出版))

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学実践 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元「物質の状態」</p> <p>【知識及び技能】 物質の状態とその変化について理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物質の状態とその変化について、観察、実験などを通して探究し、物質の状態の構造について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>1編 物質の状態</p> <p>1章 固体の構造</p> <p>2章 状態変化</p> <p>3章 気体の性質</p> <p>4章 溶液の性質</p>	<p>【知識・技能】 物質の状態とその変化についての実験などを通して、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 物質の状態とその変化について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態とその変化について主体的に関わり、見通しをもちたり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1

1 学 期	<p>【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについて、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応とエネルギーについて、観察、実験などを通して探究し、エネルギーについて見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーに関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>2編 物質の変化 1章 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解</p>	<p>【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーについて、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	○	○	○	8
	<p>【知識及び技能】 化学反応と化学平衡について、反応速度のことも理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学反応と化学平衡について、観察、実験などを通して探究し、反応速度について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>2編 物質の変化 3章 化学反応の速さ 4章 化学平衡</p>	<p>【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 反応速度や化学平衡について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度や化学平衡について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
2 学 期	<p>【知識及び技能】 無機物質について、理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 無機物質について、観察、実験などを通して探究し、元素の特徴について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 元素に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 典型金属元素 3章 遷移金属元素</p>	<p>【知識・技能】 無機物質についての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 元素について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 元素について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>【知識及び技能】 有機化合物について、炭化水素のことも理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、炭化水素について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素</p>	<p>【知識及び技能】 有機化合物についての実験などを通して、有機化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>【知識及び技能】 有機化合物について、官能基をもつ化合物のことも理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 有機化合物について、観察、実験などを通して探究し、官能基をもつ化合物について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>4編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物</p>	<p>【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、有機基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 官能基をもつ化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
	<p>【知識及び技能】 高分子化合物について、高分子化合物のことも理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 高分子化合物について、観察、実験などを通して探究し、高分子化合物について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。</p>	<p>5編 高分子化合物 1章 高分子化合物の性質 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物</p>	<p>【知識・技能】 高分子化合物についての実験などを通して、高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 高分子化合物について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	問題演習	<p>【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	4
	<p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	問題演習	<p>【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見通しをもって振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	4
合計							78

年間授業計画

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 理科 科目 化学演習

教科: 理科 科目: 化学演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第3学年 3組・4組・5組・6組 (選択者)

教科担当者: 吉田 佐川

使用教科書: (化学(数研出版))

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>1編 物質の状態</p> <p>1章 固体の構造</p> <p>2章 状態変化</p> <p>3章 気体の性質</p> <p>4章 溶液の性質</p>	<p>【知識・技能】 物質の状態とその変化についての実験などを通して、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 物質の状態とその変化について、問題を見いだし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質の状態とその変化について主体的に関わり、見通しをもちたり振り返りたりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>		○	○	○	10

1 学 期	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>2編 物質の変化 1章 化学反応とエネルギー 2章 電池と電気分解</p>	<p>【知識及び技能】 化学反応とエネルギーについての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 エネルギーについて、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 エネルギーについて主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>2編 物質の変化 3章 化学反応の速さ 4章 化学平衡</p>	<p>【知識・技能】 化学反応と化学平衡についての実験などを通して、反応速度の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 反応速度や化学平衡について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 反応速度や化学平衡について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>3編 無機物質 1章 非金属元素 2章 典型金属元素 3章 遷移金属元素</p>	<p>【知識・技能】 無機物質についての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 元素について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 元素について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
2 学 期	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>4編 有機化合物 1章 有機化合物の分類と分析 2章 脂肪族炭化水素</p>	<p>【知識及び技能】 有機化合物についての実験などを通して、炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 炭化水素について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 炭化水素について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>4編 有機化合物 3章 アルコールと関連化合物 4章 芳香族化合物</p>	<p>【知識・技能】 有機化合物についての実験などを通して、官能基をもつ化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 官能基をもつ化合物について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 官能基をもつ化合物について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>5編 高分子化合物 1章 高分子化合物の性質 2章 天然高分子化合物 3章 合成高分子化合物</p>	<p>【知識・技能】 高分子化合物についての実験などを通して、高分子化合物の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 高分子化合物について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 高分子化合物について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
3 学 期	<p>単元「共通テストに向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>共通テスト問題演習</p>	<p>【知識・技能】 化学全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学全般について、問題を見いだし見直しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学全般について主体的に関わり、見直しをもちり振り返りするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
合計							78

年間授業計画

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科 理科 科目 化学基礎演習

教科: 理科 科目: 化学基礎演習 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 (選択者)

教科担当者: 榎本

使用教科書: (化学基礎 (東京書籍))

教科 理科

の目標:

【知識及び技能】 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】 自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 化学基礎演習 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
化学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な技能を身に付けるようにする。	化学的な事物・現象を科学的に探究する力を養う。	化学的な事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学基礎全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学基礎全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎全般について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>1 編化学と人間生活</p> <p>2 編物質の構成</p> <p>1章 原子の構造と周期表</p> <p>2章 化学結合</p>	<p>【知識・技能】 化学結合とその変化についての実験などを通して、基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学結合とその変化について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学結合とその変化について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	15
<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学基礎全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学基礎全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎全般について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>2 編物質の変化</p> <p>1章 物質と化学反応式</p>	<p>【知識及び技能】 物質と化学反応式についての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 物質と化学反応式について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 物質と化学反応式について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	15
<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学基礎全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学基礎全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎全般について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>2 編物質の変化</p> <p>2章 酸と塩基</p>	<p>【知識・技能】 酸と塩基についての実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 酸と塩基について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 酸と塩基について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	15
<p>単元「入試に向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学基礎全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学基礎全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎全般について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	<p>2 編物質の変化</p> <p>3章 酸化還元反応</p>	<p>【知識及び技能】 酸化還元反応についての実験などを通して、炭化水素の基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 酸化還元反応について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 酸化還元反応について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	15
<p>単元「共通テストに向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学基礎全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学基礎全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎全般について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	共通テスト問題演習	<p>【知識・技能】 化学基礎全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学基礎全般について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎全般について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元「共通テストに向けた化学の総復習」</p> <p>【知識及び技能】 化学基礎全般を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 化学基礎全般について、観察、実験などを通して探究し、化学全般について見だして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎全般について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p>	共通テスト問題演習	<p>【知識・技能】 化学基礎全般の実験などを通して、基本的な概念や原理・原則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技術を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 化学基礎全般について、問題を見だし見通しをもって実験などを行い、科学的に考察し表現しているなど、科学的に探究している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 化学基礎全般について主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
合計						78

年間授業計画

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 理選生物

教科：理科 科目：理選生物 単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 （選択者）

教科担当者： 太田

使用教科書：（生物（東京書籍））

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 理選生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
<p>単元「生命の起源と細胞の進化」</p> <p>【知識及び技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「共通性と多様性をつなぐ進化」</p> <p>「生命の誕生」</p> <p>「生物の多様性と地球環境の変化」</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「遺伝子の変化と進化のしくみ」</p> <p>【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみのものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「遺伝的変異」</p> <p>「多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖」</p> <p>「進化の定義と自然選択による進化」</p> <p>「遺伝子レベルでみる進化」</p> <p>「種分化」</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「生物の系統と進化」</p> <p>【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生物の系統」</p> <p>「生物の系統分類」</p> <p>「霊長類のなかのヒト」</p> <p>「人類の出現と変遷」</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5

1 学 期	<p>単元「細胞と物質」</p> <p>【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「細胞を構成する成分」 「生体膜のはたらき」 「細胞の構造」 「タンパク質の構造」 「酵素としてはたらくタンパク質」 「生命現象とタンパク質」</p>	<p>【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				5
	定期考査			○	○		1
	<p>単元「代謝とエネルギー」</p> <p>【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「代謝とエネルギー」 「呼吸」 「発酵」 「光合成」</p>	<p>【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元「遺伝情報とその発現」</p> <p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「DNAの構造」 「DNAの複製」 「遺伝情報の流れ」 「RNAと転写」 「翻訳のしくみ」 「遺伝情報の変化」</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				6	

<p>単元「発生と遺伝子発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「原核生物の遺伝子発現の調節」 「真核生物の遺伝子発現の調節」 「選択的遺伝子発現と細胞分化」 「動物の発生」 「胚の細胞の発生運命と遺伝子発現」 「発生現象と遺伝子発現の調節」 「動物の形と調節遺伝子の発現」</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元「遺伝子を扱う技術」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「遺伝子を増幅する技術」 「塩基配列を解読する技術」 「遺伝子組換え技術の利用」 「遺伝子や細胞を扱う技術の課題」</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「動物の刺激の受容と反応」 【知識及び技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「刺激の受容から反応への流れ」 「ニューロンの興奮」 「興奮の伝導」 「興奮の伝達」 「刺激の受容と感覚」 「中枢神経系での情報処理」 「効果器」</p>	<p>【知識・技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「動物の行動」 【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「動物の行動とは」 「刺激の受容と行動」 「学習のしくみ」</p>	<p>【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「植物の環境応答」 【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「被子植物の生殖と発生」 「植物の一生の出来事と環境の影響」 「植物ホルモンと光受容体」 「環境要因による発芽の調整」 「根や茎の成長と環境要因の影響」 「気孔の開閉の調節と環境要因の影響」 「花芽形成と環境要因の影響」 「果実の形成と成熟のしくみ」 「器官の老化と脱落のしくみ」</p>	<p>【知識・技能】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5

2 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>単元「個体群と生物群集」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生態系からみた生物」</p> <p>「個体群と環境」</p> <p>「個体群の構造と成長」</p> <p>「個体群の相互作用」</p> <p>「種間の相互作用」</p> <p>「個体群の成り立ちと多種の共存」</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「生態系の物質生産と物質循環」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「食物連鎖と物質循環」</p> <p>「生態系の物質収支と生態ピラミッド」</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「生態系と人間生活」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生物多様性」</p> <p>「人間社会の変化と生態系」</p> <p>「生態系の復元」</p> <p>「人間は自然とどう付き合っていくらよいか」</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>【知識・技能】 今までに学習した内容を振り返りながら、入試問題に対応できる力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題の文章を読み取る力、図・表を理解する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各自が目標を定め、新たな問題、より難しい問題に挑戦する意欲と態度を養う。</p>	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>共通テスト対策</p> <p>私大対策</p>	<p>【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応する力を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題特有の表現や初見の図や表を読み取る力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 目標を定め、新たな問題、難易度の高い問題に意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
定期考査				○	○		1

3 学 期	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>【知識・技能】 今までに学習した内容を振り返りながら、入試問題に対応できる力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題の文章を読み取る力、図・表を理解する力、文章で表現する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各自が目標を定め、新たな問題、より難しい問題に挑戦する意欲と態度を養う。</p>	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>私大対策 国立二次対策 記述式問題対策</p>	<p>【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応する力を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題特有の表現や初見の図や表を読み取る力、必要な内容をまとめて表現する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 目標を定め、新たな問題、難易度の高い問題に意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	22
	合計						

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物演習

教科：理科

科目：生物演習

単位数：3 単位

対象学年組：第 3 学年 （選択者）

教科担当者： 太田

使用教科書：（生物（東京書籍））

教科 理科

の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物演習

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	相当 時数
<p>単元「生命の起源と細胞の進化」</p> <p>【知識及び技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「共通性と多様性をつなぐ進化」</p> <p>「生命の誕生」</p> <p>「生物の多様性と地球環境の変化」</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「遺伝子の変化と進化のしくみ」</p> <p>【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみのものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「遺伝的変異」</p> <p>「多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖」</p> <p>「進化の定義と自然選択による進化」</p> <p>「遺伝子レベルでみる進化」</p> <p>「種分化」</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「生物の系統と進化」</p> <p>【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生物の系統」</p> <p>「生物の系統分類」</p> <p>「霊長類のなかのヒト」</p> <p>「人類の出現と変遷」</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5

1 学 期	<p>単元「細胞と物質」</p> <p>【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「細胞を構成する成分」 「生体膜のはたらき」 「細胞の構造」 「タンパク質の構造」 「酵素としてはたらくタンパク質」 「生命現象とタンパク質」</p>	<p>【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				5
	定期考査			○	○		1
	<p>単元「代謝とエネルギー」</p> <p>【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「代謝とエネルギー」 「呼吸」 「発酵」 「光合成」</p>	<p>【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元「遺伝情報とその発現」</p> <p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「DNAの構造」 「DNAの複製」 「遺伝情報の流れ」 「RNAと転写」 「翻訳のしくみ」 「遺伝情報の変化」</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				6	

<p>単元「発生と遺伝子発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「原核生物の遺伝子発現の調節」 「真核生物の遺伝子発現の調節」 「選択的遺伝子発現と細胞分化」 「動物の発生」 「胚の細胞の発生運命と遺伝子発現」 「発生現象と遺伝子発現の調節」 「動物の形と調節遺伝子の発現」</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		1
<p>単元「遺伝子を扱う技術」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「遺伝子を増幅する技術」 「塩基配列を解読する技術」 「遺伝子組換え技術の利用」 「遺伝子や細胞を扱う技術の課題」</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「動物の刺激の受容と反応」 【知識及び技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「刺激の受容から反応への流れ」 「ニューロンの興奮」 「興奮の伝導」 「興奮の伝達」 「刺激の受容と感覚」 「中枢神経系での情報処理」 「効果器」</p>	<p>【知識・技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「動物の行動」 【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「動物の行動とは」 「刺激の受容と行動」 「学習のしくみ」</p>	<p>【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「植物の環境応答」 【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「被子植物の生殖と発生」 「植物の一生の出来事と環境の影響」 「植物ホルモンと光受容体」 「環境要因による発芽の調整」 「根や茎の成長と環境要因の影響」 「気孔の開閉の調節と環境要因の影響」 「花芽形成と環境要因の影響」 「果実の形成と成熟のしくみ」 「器官の老化と脱落のしくみ」</p>	<p>【知識・技能】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5

2 学 期	定期考査			○	○		1
	<p>単元「個体群と生物群集」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生態系からみた生物」</p> <p>「個体群と環境」</p> <p>「個体群の構造と成長」</p> <p>「個体群の相互作用」</p> <p>「種間の相互作用」</p> <p>「個体群の成り立ちと多種の共存」</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「生態系の物質生産と物質循環」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「食物連鎖と物質循環」</p> <p>「生態系の物質収支と生態ピラミッド」</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「生態系と人間生活」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生物多様性」</p> <p>「人間社会の変化と生態系」</p> <p>「生態系の復元」</p> <p>「人間は自然とどう付き合っていくらよいか」</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>【知識・技能】 今までに学習した内容を振り返りながら、入試問題に対応できる力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題の文章を読み取る力、図・表を理解する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各自が目標を定め、新たな問題、より難しい問題に挑戦する意欲と態度を養う。</p>	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>共通テスト対策</p> <p>私大対策</p>	<p>【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応する力を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題特有の表現や初見の図や表を読み取る力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 目標を定め、新たな問題、難易度の高い問題に意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	16
定期考査				○	○		1

3 学 期	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>【知識・技能】 今までに学習した内容を振り返りながら、入試問題に対応できる力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題の文章を読み取る力、図・表を理解する力、文章で表現する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各自が目標を定め、新たな問題、より難しい問題に挑戦する意欲と態度を養う。</p>	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>私大対策 国立二次対策 記述式問題対策</p>	<p>【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応する力を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題特有の表現や初見の図や表を読み取る力、必要な内容をまとめて表現する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 目標を定め、新たな問題、難易度の高い問題に意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	22
	合計						

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 自選生物

教科：理科 科目：自選生物 単位数：4 単位

対象学年組：第 3 学年 （選択者）

教科担当者： 太田

使用教科書：（ 生物（東京書籍） ）

教科 理科 の目標：

【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 自選生物 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。	生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
<p>単元「生命の起源と細胞の進化」</p> <p>【知識及び技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「共通性と多様性をつなぐ進化」 「生命の誕生」 「生物の多様性と地球環境の変化」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元「遺伝子の変化と進化のしくみ」</p> <p>【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみのものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「遺伝的変異」 「多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖」 「進化の定義と自然選択による進化」 「遺伝子レベルでみる進化」 「種分化」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元「生物の系統と進化」</p> <p>【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化のものを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生物の系統」 「生物の系統分類」 「霊長類のなかのヒト」 「人類の出現と変遷」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	7

1 学 期	<p>単元「細胞と物質」</p> <p>【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「細胞を構成する成分」 「生体膜のはたらき」 「細胞の構造」 「タンパク質の構造」 「酵素としてはたらくタンパク質」 「生命現象とタンパク質」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				8
	定期考査			○	○		1
	<p>単元「代謝とエネルギー」</p> <p>【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「代謝とエネルギー」 「呼吸」 「発酵」 「光合成」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元「遺伝情報とその発現」</p> <p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「DNAの構造」 「DNAの複製」 「遺伝情報の流れ」 「RNAと転写」 「翻訳のしくみ」 「遺伝情報の変化」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				10	

<p>単元「発生と遺伝子発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>「原核生物の遺伝子発現の調節」 「真核生物の遺伝子発現の調節」 「選択的遺伝子発現と細胞分化」 「動物の発生」 「胚の細胞の発生運命と遺伝子発現」 「発生現象と遺伝子発現の調節」 「動物の形と調節遺伝子の発現」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
<p>単元「遺伝子を扱う技術」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「遺伝子を増幅する技術」 「塩基配列を解読する技術」 「遺伝子組換え技術の利用」 「遺伝子や細胞を扱う技術の課題」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元「動物の刺激の受容と反応」 【知識及び技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「刺激の受容から反応への流れ」 「ニューロンの興奮」 「興奮の伝導」 「興奮の伝達」 「刺激の受容と感覚」 「中枢神経系での情報処理」 「効果器」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8
<p>単元「動物の行動」 【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「動物の行動とは」 「刺激の受容と行動」 「学習のしくみ」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	7
<p>単元「植物の環境応答」 【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「被子植物の生殖と発生」 「植物の一生の出来事と環境の影響」 「植物ホルモンと光受容体」 「環境要因による発芽の調整」 「根や茎の成長と環境要因の影響」 「気孔の開閉の調節と環境要因の影響」 「花芽形成と環境要因の影響」 「果実の形成と成熟のしくみ」 「器官の老化と脱落のしくみ」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	8

	定期考査			○	○		1
	<p>単元「個体群と生物群集」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生態系からみた生物」</p> <p>「個体群と環境」</p> <p>「個体群の構造と成長」</p> <p>「個体群の相互作用」</p> <p>「種間の相互作用」</p> <p>「個体群の成り立ちと多種の共存」</p> <p>復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元「生態系の物質生産と物質循環」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「食物連鎖と物質循環」</p> <p>「生態系の物質収支と生態ピラミッド」</p> <p>復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	<p>単元「生態系と人間生活」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生物多様性」</p> <p>「人間社会の変化と生態系」</p> <p>「生態系の復元」</p> <p>「人間は自然とどう付き合っているだろうか」</p> <p>復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>【知識・技能】 今までに学習した内容を振り返りながら、入試問題に対応できる力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題の文章を読み取る力、図・表を理解する力、文章で表現する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各自が目標を定め、新たな問題、より難しい問題に挑戦する意欲と態度を養う。</p>	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>私大対策</p> <p>国立二次対策</p> <p>記述式問題対策</p>	<p>【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応する力を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題特有の表現や初見の図や表を読み取る力、必要な内容をまとめて表現する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 目標を定め、新たな問題、難易度の高い問題に意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	30

合計
156

高等学校 令和8年度（3学年用） 教科 理科 科目 生物実践

教科：理科 科目：生物実践 単位数：2 単位
 対象学年組：第 3 学年（選択者）
 教科担当者：太田
 使用教科書：（生物（東京書籍））

- 教科 理科 の目標：
 【知識及び技能】自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する技能を身に付ける。
 【思考力、判断力、表現力等】観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
 【学びに向かう力、人間性等】自然の事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

科目 生物実践 の目標：	
【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】
生物学の基本的な概念や原理・法則の理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。	観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
	【学びに向かう力、人間性等】生物や生物現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態 配当			
			知	思	態	時数
単元「生命の起源と細胞の進化」 【知識及び技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「共通性と多様性をつなぐ進化」 「生命の誕生」 「生物の多様性と地球環境の変化」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生物の進化について、生命の起源と細胞の進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生命の起源と細胞の進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生命の起源と細胞の進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
単元「遺伝子の変化と進化のしくみ」 【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「遺伝的変異」 「多様な遺伝的変異をもたらす有性生殖」 「進化の定義と自然選択による進化」 「遺伝子レベルでみる進化」 「種分化」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生物の進化について、遺伝子の変化と進化のしくみの基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子の変化と進化のしくみについての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子の変化と進化のしくみに主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	4
単元「生物の系統と進化」 【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の概念や原理・法則を理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。	「生物の系統」 「生物の系統分類」 「霊長類のなかのヒト」 「人類の出現と変遷」 復習と要点整理、問題演習	【知識・技能】 生物の進化について、生物の系統と進化の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 生物の進化について、観察、実験などを通して探究し、生物の系統と進化についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 生物の系統と進化に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。	○	○	○	3

1 学 期	<p>単元「細胞と物質」</p> <p>【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「細胞を構成する成分」 「生体膜のはたらき」 「細胞の構造」 「タンパク質の構造」 「酵素としてはたらくタンパク質」 「生命現象とタンパク質」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生命現象と物質について、細胞と分子の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、細胞と分子についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 細胞と分子に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				4
	定期考査			○	○		1
	<p>単元「代謝とエネルギー」</p> <p>【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「代謝とエネルギー」 「呼吸」 「発酵」 「光合成」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生命現象と物質について、代謝の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生命現象と物質について、観察、実験などを通して探究し、代謝についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 代謝に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「遺伝情報とその発現」</p> <p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に関する事物・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「DNAの構造」 「DNAの複製」 「遺伝情報の流れ」 「RNAと転写」 「翻訳のしくみ」 「遺伝情報の変化」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝情報とその発現の基本的な概念や原理・法則などを理解するとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝情報とその発現についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝情報とその発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>				5	

<p>単元「発生と遺伝子発現」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p> <p>定期考査</p>	<p>「原核生物の遺伝子発現の調節」 「真核生物の遺伝子発現の調節」 「選択的遺伝子発現と細胞分化」 「動物の発生」 「胚の細胞の発生運命と遺伝子発現」 「発生現象と遺伝子発現の調節」 「動物の形と調節遺伝子の発現」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、発生と遺伝子発現の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、発生と遺伝子発現についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 発生と遺伝子発現に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
<p>単元「遺伝子を扱う技術」 【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「遺伝子を増幅する技術」 「塩基配列を解読する技術」 「遺伝子組換え技術の利用」 「遺伝子や細胞を扱う技術の課題」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 遺伝情報の発現と発生について、遺伝子を扱う技術の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 遺伝情報の発現と発生について、観察、実験などを通して探究し、遺伝子を扱う技術についての特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 遺伝子を扱う技術に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>単元「動物の刺激の受容と反応」 【知識及び技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「刺激の受容から反応への流れ」 「ニューロンの興奮」 「興奮の伝導」 「興奮の伝達」 「刺激の受容と感覚」 「中枢神経系での情報処理」 「効果器」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 刺激の受容と反応について、動物の反応の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 刺激の受容と反応について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 刺激の受容と反応に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	4
<p>単元「動物の行動」 【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係を理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「動物の行動とは」 「刺激の受容と行動」 「学習のしくみ」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 動物の行動について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 動物の行動について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 動物の行動に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	3
<p>単元「植物の環境応答」 【知識・技能】 植物の環境応答について、植物の成長や反応に植物ホルモンが関わることを見いだして理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、神経系の働きと行動との関係を見いだして表現する。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「被子植物の生殖と発生」 「植物の一生の出来事と環境の影響」 「植物ホルモンと光受容体」 「環境要因による発芽の調整」 「根や茎の成長と環境要因の影響」 「気孔の開閉の調節と環境要因の影響」 「花芽形成と環境要因の影響」 「果実の形成と成熟のしくみ」 「器官の老化と脱落のしくみ」 復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 植物の環境応答について、神経系の働きと行動との関係の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 植物の環境応答について、観察、実験などを通して探究し、環境変化に対する生物の応答の特徴を見いだして表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 植物の環境応答に主体的に関わり、見通しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	4

	定期考査			○	○		1
	<p>単元「個体群と生物群集」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、生態系における生物間の関係及び生物と環境との関係性を見いだして表現する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態と環境に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生態系からみた生物」 「個体群と環境」 「個体群の構造と成長」 「個体群の相互作用」 「種間の相互作用」 「個体群の成り立ちと多種の共存」</p> <p>復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、個体群と生物群集の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態と環境について、観察、実験などを通して探究し、個体群と生物群集についての特徴を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 個体群と生物群集の理解に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「生態系の物質生産と物質循環」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「食物連鎖と物質循環」 「生態系の物質収支と生態ピラミッド」</p> <p>復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系の物質生産と物質循環の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系の物質生産と物質循環に関する資料にもとづいて、生態系における物質生産及びエネルギーの移動と生態系での物質循環とを関連づけて理解している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系の物質生産と物質循環に主体的に関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	<p>単元「生態系と人間生活」</p> <p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活のことを理解するとともに、それらの観察、実験などに関する技能を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして理解する。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に関する事象・現象に主体的に関わり、科学的に探究しようとする態度と、生命を尊重し、自然環境の保全に寄与する態度を養う。</p>	<p>「生物多様性」 「人間社会の変化と生態系」 「生態系の復元」 「人間は自然とどう付き合っていくらよいか」</p> <p>復習と要点整理、問題演習</p>	<p>【知識・技能】 生態と環境について、生態系と人間生活の基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 生態系と人間生活に関する資料にもとづいて、人間生活が生態系に及ぼす影響を見いだして表現している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生態系と人間生活に主体的に関わり、人間生活の在り方について考え、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。</p>	○	○	○	5
	定期考査			○	○		1
3 学 期	<p>「大学入試問題演習」</p> <p>【知識・技能】 今までに学習した内容を振り返りながら、入試問題に対応できる力を身に付ける。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題の文章を読み取る力、図・表を理解する力、文章で表現する力を身に付ける。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各自が目標を定め、新たな問題、より難しい問題に挑戦する意欲と態度を養う。</p>	<p>「大学入試問題演習」 私大対策 国立二次対策 記述式問題対策</p>	<p>【知識・技能】 今までに学習してきた内容を振り返りながら、入試問題に対応する力を身に付けている。</p> <p>【思考・判断・表現】 入試問題特有の表現や初見の図や表を読み取る力、必要な内容をまとめて表現する力を身に付けている。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 目標を定め、新たな問題、難易度の高い問題に意欲的に取り組もうとしている。</p>	○	○	○	14

合計
78

年間授業計画

高等学校 令和8年度 (3学年用) 教科 保健体育 科目 体育

教科： 保健体育 科目： 体育 単位数： 単位
 対象学年組： 第 3 学年 1 組～ 8 組
 教科担当者： (16組：吉田・茂呂・宮田) (24組：吉田・茂呂・氣田 (35組：吉田・茂呂・高安) (78組：吉田・茂呂・遠山)
 使用教科書： (50 大修館 保体702 新高等保健体育)

教科 保健体育 の目標：
【知識及び技能】 各種の運動の特性に応じた技能等及び社会生活における健康・安全について理解するとともに、技能を身に付けるようにする
【思考力、判断力、表現力等】 運動や健康についての自己や社会の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、他者に伝える力を養う
【学びに向かう力、人間性等】 生涯にわたって継続して運動に親しむとともに健康の保持増進と体力の向上を目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う

科目 体育	【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするために、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともに、それらの技能を身に付けるようにする。	生活にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間と考えたことを他者に伝える力を養う。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組み、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画するなど、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。	

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知 思 態			配当 時数
			知	思	態	
【知識及び技能】 ・手軽な運動を行い、心と体は互いに影響し変化することや心身の状態に気付き、仲間と自主的に関わり合うことができる。 ・実生活に生かす運動の計画では、ねらいに応じて、健康の保持増進や調和のとれた体力の向上を図るための運動の計画を立て取り組むことができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己(や仲間)の考えたことを他者に伝えることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとし、話し合いに貢献しようとするなど、健康・安全を確保しようとしている。	運動を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の保持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立て取り組む。	【知識・技能】 ・心身の健康、健康や体力の保持増進について学習した具体例を挙げている。 ・のびのびとした動作で用具などをを用いた運動を行うことを通じて、気付いたりかわりあったりすることができる。 【思考・判断・表現】 体力の程度や性別等の違いに配慮して、仲間とともに体づくり運動を楽しむための活動の方法や修正の仕方を見付けることができる。 体づくり運動の学習成果を踏まえて、実生活で継続しやすい運動例や運動の組み合わせの例を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 体づくり運動の学習に自主的に取り組もうとしている。 健康・安全を確保しようとしている。	○	○	○	12
【知識及び技能】 ・安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴール前への侵入などから攻防をすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者におわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなど、健康・安全を確保しようとしている。	ア ゴール型「アルティメット」「バスケットボール」 グループで協力し、授業を計画・実践する。	【知識・技能】 ・体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 ・味方が作り出した空間にパスを送ることができる。 ・チームの作戦に応じた守備位置に移動し、相手のボールを奪うための動きをすることができる。 【思考・判断・表現】 選択した運動について、チームや自己の動きを分析して、良い点や修正点を指摘することができる。 体力や技能の程度、性別等の違いを超えて、仲間と共に球技を楽しむための調整の仕方を見付けることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 フェアなプレイを大切にしようとし、取り組むことができる。	○	○	○	16
【知識及び技能】 ・役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻防をすることができる。 ・ボール操作とボールを持たないときの動き並びにそれらに関連したプレイの判断に着目し観察することで、個人やチームの学習課題が明確になり、学習成果が高められることを理解できる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・自己や仲間の課題を発見し、これまで学習した知識や技能を活用して、学習課題への取り組み方を工夫できる。 ・自己や仲間の課題の発見や解決に向けて考えたりしたことを、他者におわかりやすく伝えられる。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとし、作戦などについての話し合いに貢献しようとし、一人一人の違いに応じたプレイなどを大切にしようとし、互いに助け合い教え合おうとすることなど、健康・安全を確保しようとしている。	イ ネット型「テニス」 ・勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、体力の高め方や運動観察の方法などを理解するとともに、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる。	【知識及び技能】 ・体力の高め方について学習した具体例を挙げている。 ・サーブでは、ボールを狙った場所に打つことができる。 ネット付近でボールの侵入を防いだり、打ち返したりすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ルールを守り競争したり勝敗を受け入れたりする場面で、よりよいマナーや行為について、自己の活躍を振り返ることができる。 チームで分担した役割に関する成果や改善すべきポイントについて、自己の活躍を振り返ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 作戦などについて、話し合いに貢献しようとしている。	○	○	○	16

年間授業計画

上野 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 外国語 科目 コミュニケーション英語Ⅲ

教科: 外国語 科目: コミュニケーション英語Ⅲ 単位数: 4 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者: (2・4・8組: 三浦) (1・6・7組: 村瀬) (3・5組: 岡田)

使用教科書: (Heartening English Communication Ⅲ 桐原書店)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。

【思考力、判断力、表現力等】知識及び技能を活用して、課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

科目 コミュニケーション英語Ⅲ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項を理解している。コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について話された文等を聞いて、その内容を捉える技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、必要な情報を聞き取り、話し手の意図や概要、要点を捉えている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、話し手に配慮しながら、主体的、自律的に英語で話されることを聞こうとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	感	配 当 時 数
		聞	読	話(や)	書					
1 学 期	Lesson 1: Potential Uses of Optical Illusions 錯視が日常生活に使われている方法について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。	・現代の建築の内装や、道路などにおいて、どんな錯視が利用されているかを読み取らせる。 ・錯視には制約があるもの、さらなる用途の可能性もあることを読み取らせる。	○	○	○	○				11
	Lesson 2: Expanding World Population 人口増加に伴う問題の解決策について自分なりに意見を持ち、表現することができる。	・世界中の人口増加が、食糧不足、不十分な衛生施設によって起きる感染症拡大の問題、水不足、住宅不足、環境に与えるダメージなどの問題を引き起こしていること、さらなる人口爆発が問題を悪化させていくであろうことを理解させる。	○	○	○	○				11
	Lesson 3: What Makes a Hit Songs? 娯楽の社会的側面や、自分の意見が他人の意見にどのように影響を受けているかについて、自分の意見を持ち積極的に発信することができる。	・ヒットソングになるのはどんな曲かというオンライン研究の過程を読み取らせる。 ・ほかの人が高く評価したものに高い評価をつけるという研究結果を理解させる。	○	○	○	○				11
	定期考査						○	○		1
	Lesson 4: Visas for Life 杉原の行動について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。	・ユダヤ系避難民がなぜ日本領事館に来るのか、そして彼らを支援した杉原の行動を読み取らせる。 ・杉原のリトアニアでの行為の評価のきっかけを読み取らせる。	○	○	○	○				11
	Lesson 5: How Have Butterflies Survived? 動物の環境への適応についてさまざまな適応方法を知り、それを表現することができる。	・チョウはどのようにして絶滅せず生き残ることができているのかという研究者の問題意識を理解させる。 ・後羽の役割は何かを知るための研究者の実験の過程とその結果を読み取らせる。	○	○	○	○				11
Lesson 6: Mr. Price Meets Jakuchu 人と人との出会いがもたらす影響について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。	・ブライスが 2013年に東北で再び展覧会を開くに至った経緯と、若冲の作品を通して東北の人々に思い出してほしかったことを読み取らせる。 ・若冲とブライスの出会いが現代の私たちにどのような影響を与えているのかを考えさせる。	○	○	○	○				11	
定期考査						○	○		1	
2 学 期	Lesson 7: Sustainable Lifestyle of the Edo Period 現代の消費社会が抱える環境問題を解決する知恵を、リサイクルの発達した江戸時代から学ぶべきだという主張を理解し、自分の言葉で表現することができる。	・江戸の町でリサイクルのシステムが発達しており、人々は限りある資源を有効に活用していたことを読み取らせる。 ・江戸時代の知恵を学ぶことで、より持続可能な社会を築くことができることを理解させる。	○	○	○	○				17
	Lesson 8: Why Do We Lie? 人がうそをつく理由や状況について理解し、「正直は最善の策」というフェルドマンの主張について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。	・害のないうそと、信頼を損なうことにつながるうそがあることを理解させる。 ・フェルドマンの研究内容から、人は自分でも真実と虚構の違いが分からなくなることがあることを理解させる。	○	○	○	○				18
	定期考査						○	○		1
	Lesson 9: In Defense of Zoos 動物園をめぐる論争について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。	・動物園が生物の多様性の喪失に対してどのような働きかけを行っているかを理解させる。 ・動物園の昔と今の状況の対比から、筆者がどのような結論に至っているかを読み取らせる。	○	○	○	○				17
	Lesson 10: Eco-friendly Farming of Bluefin Tuna マグロ漁業が抱える問題とクロマグロの完全養殖の可能性について理解できる。また、グラフから必要な情報を読み取り、まとめることができる。	・クロマグロの完全養殖を実現する上で研究者たちが直面した困難について理解させる。 ・完全養殖は成功したものの、その生産規模のさらなる拡大の必要性について理解させる。	○	○	○	○				18
	定期考査						○	○		1
3 学 期	Lesson 11: A Brief History of Humans 人間がなぜ世界の統治者になり得たかを理解し、人間の想像力について自分なりに意見を持ち、それを表現することができる。	・どのように人間が世界の統治者となり得たのかという筆者の問題意識を理解させる。 ・ほかの動物とは違い大勢で柔軟に協力することのできる人間の特性は「想像力」にあることを理解させる。	○	○	○	○				15
	定期考査						○	○		1
									合計	156

年間授業計画

上野 高等学校 令和8年度(3学年用) 教科 外国語 科目 論理表現Ⅲ

教科: 外国語 科目: 論理表現Ⅲ 単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 1 組～ 8 組

教科担当者: (1・7組: 三浦) (2・8組: 村瀬) (3・4・5・6組: 宮崎)

使用教科書: (EARTHRISE Logic and Expression Ⅲ Advanced)

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】 習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既知の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。

【思考力、判断力、表現力等】 知識及び技能を活用して、課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

科目 論理表現Ⅲ の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の特徴やきまりに関する事項及びその働きや役割を理解している。目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝えることができる技能を身に付けている。	目的や場面、状況に応じて、自分の意見や主張などを論理の構成や展開を工夫して、詳しく話したり書いたりして伝え合っている。	外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手・読み手など他者に配慮しながら、主体的・自律的に表現しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価規準	知	思	感	配 当 時 数
		聞	読	話 (や り)	書					
1 学 期	Lesson 1 / 2 / 3 場面や立場に応じて必要な表現を理解し、自身の伝えたい内容についてメールを書くことができる。	・受け取ったメールへの返信を書く。 ・注文した商品の不備を報告するとともに、その後の対応について質問するメールを書く。 ・留学予定先の学校に懸念点を質問するメールを書く。	○	○	○	○				12
	定期考査									1
	Lesson 4 / 5 / 6 社会的に話題になっているテーマについて理解し、自身の意見を書くことができる。	・コンビニエンスストアの24時間営業の是非について意見を述べる。 ・スマート農業の普及に関して意見を述べる。 ・人気になるとする家事ロボットの機能について意見を述べる。	○	○	○	○				12
定期考査									1	
2 学 期	Lesson 7 / 8 イラストを基に順序立てて説明することができる。	・イラストを基にお好み焼きの作り方を説明する。 ・イラストを基にある人の人助けの経験を説明する。	○	○	○	○				6
	Lesson 9 / 10 申込書や応募書類を作成することができる。	・高校生向けの科学イベントへの参加申込書を作る。 ・インターンシップへの応募書類を作る。	○	○	○	○				6
	定期考査									1
	Lesson 11 / 12 要点を整理したりうえで、自身の意見を書くことができる。	・情報の信頼性に関する資料の要点を整理するとともに意見を述べる。 ・ゴミ問題に関する資料の要点を整理するとともに意見を述べる。	○	○	○	○				6
	問題演習	問題演習	○	○	○	○				6
定期考査									1	
3 学 期	問題演習	問題演習	○	○	○	○				5
合計										57

高等学校 令和8年度(3学年用) 教科

外国語 科目 総合英語

教科: 外国語 科目: 総合英語

単位数: 2 単位

対象学年組: 第 3 学年 組~ 組

教科担当者: 片岡

使用教科書: Cutting Edge Blue

教科 外国語 の目標:

【知識及び技能】 習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中

【思考力、判断力、表現力等】 知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。

【学びに向かう力、人間性等】 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、

科目 総合英語 の目標:

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
習得すべき知識や重要な概念等を理解している。それらを既有的知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取組の中で、自らの学習を調整しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域					評価規準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 〔 や 〕	話 〔 発 〕	書					
Chapter 1 Chapter 2	評論、随筆を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	5
Chapter 3 Chapter 4	科学論文を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	5
中間考査								○	○		1
Chapter 5 Chapter 6	随筆、経済記事を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	5
Chapter 7 Chapter 8	自然科学に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6
Chapter 9 Chapter 10	時事的トピックに関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6
期末考査								○	○		1
Chapter 11 Chapter 12	人間関係、自然環境に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6
Chapter 13 Chapter 14	行動心理学、環境問題に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6
中間考査								○	○		1
Chapter 15 Chapter 16	デジタルテクノロジーと認知に関する文章を読み、内容を理解するとともに、語彙、文法項目を習得する。	○	○				【評価対象】 (a) 授業中の活動への取り組み状況 (b) 語彙、文法小テスト (c) 定期考査等	○	○	○	6

2
学
期

高等学校 令和8年度（3学年用）

教科 情報 科目 情報演習

教科： 教科 情報 科目： 情報演習

単位数： 1 単位

対象学年組： 第 3 学年 組～ 組

教科担当者： （ 大和 ）

使用教科書： （ 日本文教出版 情報Ⅰ ）

教科 教科 情報 の目標：

- 【知識及び技能】 効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能を習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深め入試に対応できる力を付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養い入試に対応できる力を付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養い入試に対応できる力を付ける。

科目 情報演習 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
情報と情報技術を問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付けているとともに、情報化の進展する社会の特質及びそのような社会と人間との関わりについて理解している。	事象を情報とその結び付きの視点から捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に用いている。	情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
A情報社会の問題解決 【知識及び技能】 情報社会の問題の発見・解決に活用するための知識について理解し、技能を身に付ける 情報技術が人や社会に果たす役割と影響、情報モラルなどについての理解 【思考力、判断力、表現力等】 情報社会を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決し、望ましい情報社会の構築に寄与 【学びに向かう力、人間性等】 情報社会との関わりについて考えながら、問題の発見・解決に向けて主体的に情報と情報技術を活用し、自ら評価し改善しようとしている。情報モラルなどに配慮して情報社会に主体的に参画しようとする態度	・情報の特性 ・メディアの特性、メディアリテラシー ・問題解決の考え方 ・知的財産権、産業財産権 ・個人情報 ・情報社会と情報セキュリティ ・ソーシャルメディア適切な活用 ・情報技術の発展と社会の変化	【知識・技能】 ・情報やメディアの特性を踏まえ情報技術を活用して問題の発見・解決できる ・情報に関する法規や制度、情報セキュリティの重要性、情報社会における個人の責任及び情報モラルについて理解している 【思考・判断・表現】 ・目的や状況に応じて、情報と情報技術を適切かつ効果的に活用して問題を発見・解決する ・情報に関する法規や制度及びマナー意義、情報社会において個人の果たす役割や責任、情報モラルなどについてそれらの背景を科学的にとらえ考察できる 【主体的に学習に取り組む態度】 ・情報と情報技術を適切に活用するとともに情報社会に主体的に参画する参画している ・情報と情報技術の適切かつ効果的な活用と望ましい情報社会の構築について考察しようとしている	○	○	○	5
B 単元 コミュニケーションと情報デザイン 【知識及び技能】 メディアの特性やコミュニケーション手段の特徴についての科学的な理解 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法について 【思考力、判断力、表現力等】 コンテンツを表現し、評価し改善する思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力、人間性等】 情報と情報技術を活用して効果的なコミュニケーションを行おうとする態度 情報社会に主体的に参画する態度	・メディアの発達、コミュニケーションの形態や特性 ・アナログとデジタル ・情報の表現のしくみ ・情報デザイン ・コンピュータの基本的な構成 ・CPUによる演算 ・アルゴリズム ・プログラムを構成する要素 ・データ構造と配列	【知識・技能】 メディアの特性とコミュニケーション手段の特徴について、その変遷も踏まえて科学的に理解している コンピュータや外部装置の仕組みや特徴、コンピュータでの情報の内部表現と計算に関する限界について理解している 【思考・判断・表現】 メディアとコミュニケーション手段の関係を科学的に捉え、それらを目的や状況に応じて適切に選択できる コンピュータで扱われる情報の特徴とコンピュータの能力との関係について考察できる 目的に応じたアルゴリズムを考え適切な方法で表現し、プログラミングによりコンピュータや情報通信ネットワークを活用するとともに、その過程を評価し改善できる 【主体的に学習に取り組む態度】 効果的なコミュニケーションを行うための情報デザインの考え方や方法に基づいて表現し評価し改善しようとしている	○	○	○	6
定期考査			○	○		1
1 学期 C 単元 コンピュータとプログラミング 【知識及び技能】 コンピュータの仕組みとコンピュータでの情報の内部表現、計算に関する限界などの知識 アルゴリズムを表現しプログラミングによってコンピュータや情報通信ネットワークの機能を使う方法についての知識と技能 【思考力、判断力、表現力等】 モデル化やシミュレーションなどの目的に応じてコンピュータの能力を引き出す思考力・判断力・表現力 【学びに向かう力、人間性等】 問題解決にコンピュータを積極的に活用しようとする態度 ○結果を振り返って改善しようとする態度 ○生活の中で使われているプログラムを見いだして改善しようとするなどを通じて情報社会に主体的に参画しようとする態度	・モデル化とは ・モデル化とシミュレーション ・コンピュータネットワークの構成 ・データ伝送の仕組みとプロトコル ・暗号化と情報セキュリティ	【知識・技能】 社会や自然における事象をモデル化する方法、シミュレーションを通してモデルを評価し改善する方法について理解している 情報通信ネットワークの仕組みや構成要素、プロトコルの役割及び情報セキュリティを確保する方法や技術について理解している 【思考・判断・表現】 目的に応じたモデル化やシミュレーションを適切に行うとともに、その結果を踏まえて問題の適切な解決方法を考えることができる ネットワークにおける情報セキュリティ上の問題について適切な解決方法を考えることができる 【主体的に学習に取り組む態度】 モデル化やシミュレーションを通して問題解決を積極的に行い、改善しようとしているか。 ネットワークや暗号化の仕組みを理解し適切な行動ができているか。	○	○	○	5
D 単元 (1)情報通信ネットワークとデータの活用	・情報システム ・データベースの活用 ・データの収集と管理	【知識・技能】 データを蓄積、管理、提供する方法、情報通信ネットワークを介して情報システムがサー				

